

工事仕様書

工事名称 宇根山家族旅行村浄化槽改修工事

工事場所 三原市久井町吉田

工事内容 本工事は、宇根山家族旅行村の浄化槽を更新する。

【工事概要】

合併処理浄化槽 114人槽 1基

準 則 公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、建築物解体工事共通仕様書 (各 令和4年版 国土交通省官房官庁営繕部監修)に基づき施工する。

関係法令等 本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。

- ・建築基準法、同施行令、同施行規則
- ・消防法、同施行令
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則
- ・労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則
- ・建設業法、同施行令、同施行規則
- ・建設工事公衆災害防止対策要綱
- ・石綿障害予防規則
- ・大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法
- ・建設工事に係る再資源化等に関する法律、同法施行令
- ・その他関係法令

疑義変更 本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。

施工に際して疑義が生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議後、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて請負金額の増減はなきものとする。

提出書類 施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。

商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けること。

設計図書に定める品質及び性能を有することについて、証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けること。

工 期 本工事は請負契約締結の後、令和7年2月13日をもって工期とする。

このうち検査期間として13日間を見込んでいる。

留意事項

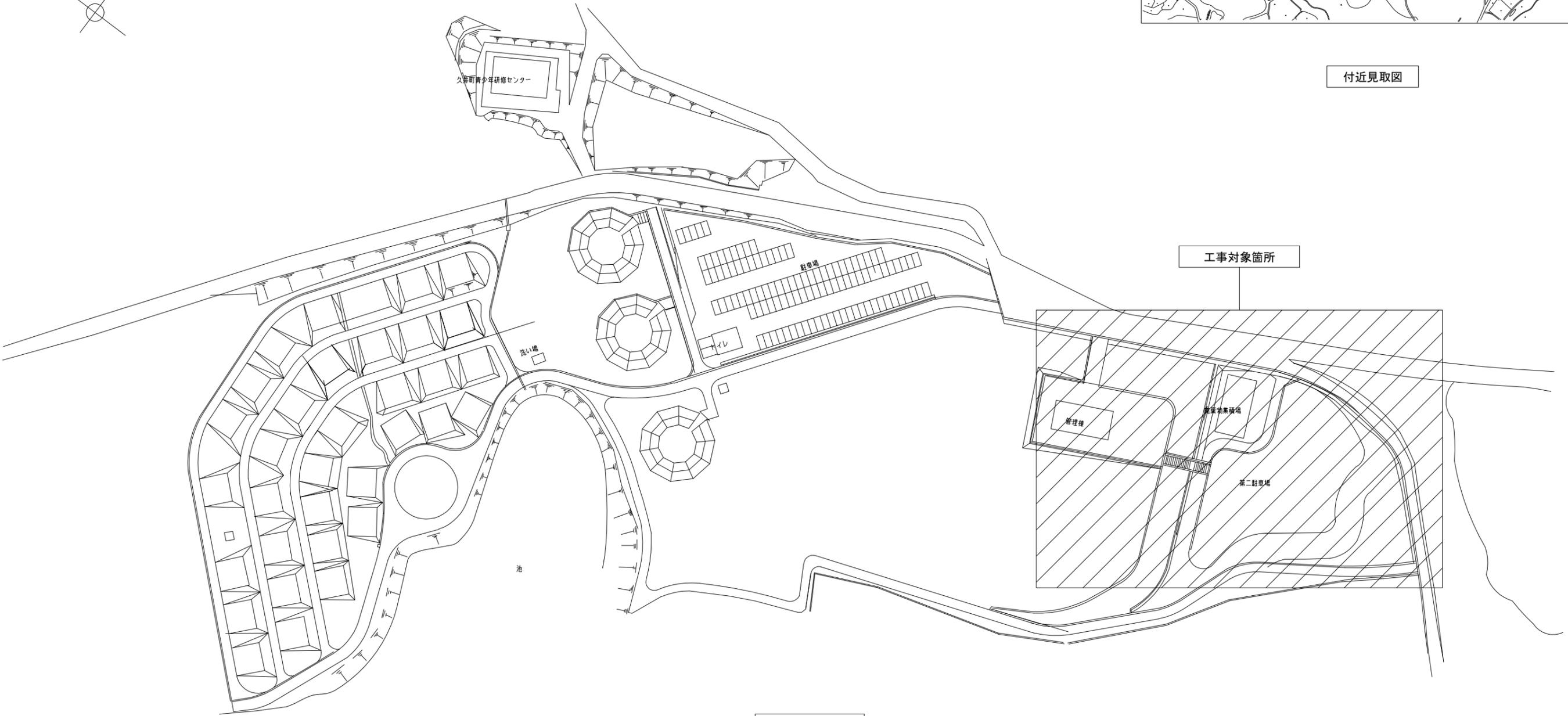
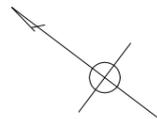
- ・入札に先立ち、現地調査を十分に行うこと。質疑がある場合は入札前に確認すること。
- ・図面について、設計者からの設計意図等の説明が必要な場合は申し出ること。
- ・図面に明示されていない事項であっても、工地上必要とされる事は工事範囲とする。
- ・作業日は、原則、月曜日から金曜日とし、土曜日及び日曜日は休日とすること。
- ・行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- ・本工事は「発注者指定型」による週休2日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市週休2日工事等実施要領」（令和6年4月1日制定）に基づき実施するものとする。
- ・工事着手前までに「週休2日工事」または「週休2日交代制工事」に取り組むことを工事打合せ簿にて提出すること。
- ・「週休2日工事」または「週休2日交代制工事」である旨を工事現場に設置すること。
- ・週休2日を達成できなくなった場合は、その達成状況に応じて労務費の補正額を減額する。
- ・デジタル化を積極的に推進すること。
- ・紙資料の削減を目的として、電子機器の利用を主とすること。
- ・工事の詳細については、事前に施設管理者へ説明を行い、承諾を得ること。
- ・着手にあたり、工事着手前の周辺道路や近隣敷地の状況を写真等により記録しておくこと。
- ・近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。苦情等が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
- ・工事関係者等の作業に関わる全員については、周辺住民への心遣いとして挨拶を徹底すること。
- ・近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
- ・使用する建設機械については、原則、「低騒音型、低振動型建設機械」として国土交通省の指定を受けた機械を選定して使用すること。これが確認できる資料を施工計画書で示すこと。なお、事情により使用が難しい場合は監督員との協議を行うこと。
- ・解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法等を最大限配慮した計画により作業を行うこと。
- ・粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行う等して、周辺環境への粉塵飛散がないように作業をすること。
- ・近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、原状復旧に努めること。
- ・周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的な清掃を行うこと。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置すること。
- ・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。
- ・工事車両は、幅員の広い道路の通行を基本とし、住宅地内などの狭い道を抜け道として使用しないこと。工事車両の周辺の通行経路については、工事着手前に発注者の了承を得ること。
- ・工事区域内の残置する設備配管・配線等については、事前に位置を確認してから作業を行うこと。事前調査記録を作成すること。
- ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・台風や豪雨など自然災害の発生が予測される場合は、必要な対策を施すこと。また、現場巡視と災害防止対策を必要に応じて行うこと。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- ・工事の要求に必要な仮設は、工事に含むものとする。
- ・配筋検査は、受注者による自主検査を行ったうえ、監理者及び監督員による検査を受検すること。なお、これらの検査は、種類・径・数量についての全数検査を行うこと。
- ・配筋検査前に、上記内容はもとより、継手定着長さ・位置、かぶり厚さ、鉄筋のあき寸法など、設計図書通りに施工されていることを確認してから検査に臨むこと。
- ・コンクリート打設後の所定期間中は、散水等による湿潤養生を適切に行うこと。
- ・設備機器の固定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」の基準に基づいて検討し、監督員と協議の上、施工すること。
- ・工事に伴う官公庁等への手続きは、受注者により遅滞なく行うこと。この時、各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・石綿含有建材の調査（書面及び目視調査、検体採取を含む）について、工事着手前までに一般建築物石綿含有建材調査者、又は特定建築物石綿含有建材調査者が行うこと。

- ・工事着手前までに石綿含有建材の事前調査結果を書面にまとめて発注者に対し説明を行い、労働基準監督署及び所轄官庁へ報告すること。
- ・その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令（令和3年4月1日施行）に基づくこと。
- ・石綿含有分析調査は試料採取と分析調査費を含む。分析は定性及び定量（JIS A 1481-1及びJIS A 1481-3による。含有の場合は、含有する層の判定も行う。）について1検体を見込んでいる。
- ・石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル(最新版)に基づくこと。
- ・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。
- ・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
- ・工事書類については、工事中情報共有システムの決裁データ等を整理して、CD-R又はDVD-Rにて提出すること。
- ・書面での提出が必要なもの（完成図書、建退共の掛金収納書、試験結果、保証書 等）については、PDFを工事中情報共有システムで提出し、別に書面提出ファイルとしてまとめて提出すること。
こと。
- ・工事完了後、完成図として製本図面（縮小版・二つ折り・A4版）を4部提出すること。
- ・以下の設計図面は、A2判をA3判に縮小している。（縮小率約70.7%）

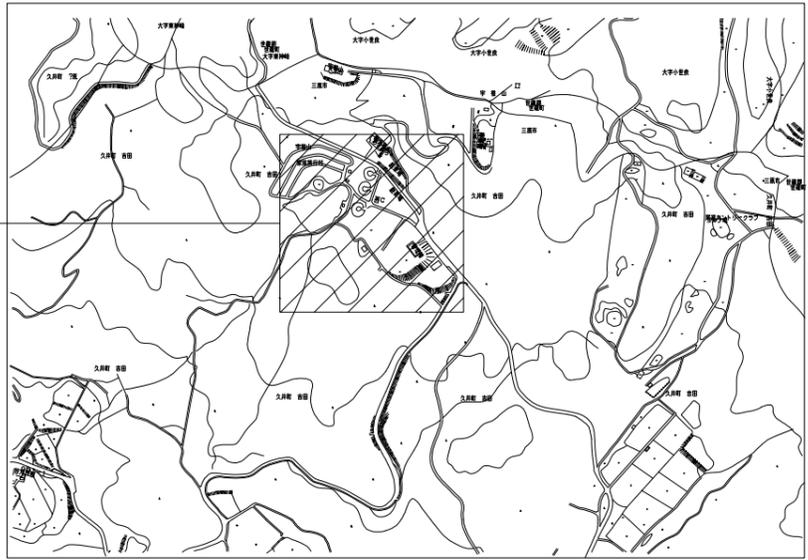
宇根山家族旅行村浄化槽改修工事

| 区分 | 図面番号 | 図面名称 | 縮尺 |
|----|------|-------------------------|-----------|
| 機械 | M-00 | 図面リスト | N/S |
| 機械 | M-01 | 機械設備 特記仕様書 (一般共通事項) | N/S |
| 機械 | M-02 | 機械設備 特記仕様書 (工事別事項) | N/S |
| 機械 | M-03 | 全体配置図・付近見取図・凡例 | 1/1000 |
| 機械 | M-04 | 衛生設備 配置図 (新設) | 1/300 |
| 機械 | M-05 | 排水処理設備 配置図 (参考図) | 1/50 |
| 機械 | M-06 | 排水処理設備 構造図 (参考図) | 1/50 |
| 機械 | M-07 | 排水処理設備 躯体図 (参考図) | 1/30・1/60 |
| 機械 | M-08 | 排水処理設備 機械室 (参考図) | 1/20 |
| 機械 | M-09 | 排水処理設備 制御盤図 (参考図) | N/S |
| 機械 | M-10 | 排水処理設備 結線図 (参考図) | N/S |
| 機械 | M-11 | 排水処理設備 エア配管・動力配線図 (参考図) | N/S |
| 機械 | M-12 | 衛生設備 配置図 (撤去) | 1/300 |
| 機械 | M-13 | 排水処理設備 構造図 (撤去) | N/S |
| 機械 | M-14 | 排水処理設備 電気図 (撤去) (1) | N/S |
| 機械 | M-15 | 排水処理設備 電気図 (撤去) (2) | N/S |
| | | | |
| 電気 | E-01 | 電気設備 特記仕様書 | N/S |
| 電気 | E-02 | 幹線・動力設備 配置図 (改修後) | 1/300 |
| 電気 | E-03 | 幹線・動力設備 配置図 (改修前) | 1/300 |
| | | | |
| | | | |

| 空調・換気設備 | 1. 設計用温湿度条件 | <table border="1"><thead><tr><th colspan="2">外気条件</th><th colspan="4">室内(調整目標値)</th></tr><tr><th>温度(DB)</th><th>湿度</th><th>温度(DB)</th><th>湿度</th><th>温度(DB)</th><th>湿度</th></tr></thead><tbody><tr><td>夏季</td><td>34.9℃</td><td>51.0%</td><td>28.0℃</td><td>50%</td><td>℃</td><td>%</td></tr><tr><td>冬季</td><td>-0.2℃</td><td>69.9%</td><td>19.0℃</td><td>40%</td><td>℃</td><td>%</td></tr></tbody></table> | 外気条件 | | 室内(調整目標値) | | | | 温度(DB) | 湿度 | 温度(DB) | 湿度 | 温度(DB) | 湿度 | 夏季 | 34.9℃ | 51.0% | 28.0℃ | 50% | ℃ | % | 冬季 | -0.2℃ | 69.9% | 19.0℃ | 40% | ℃ | % | 28. 消音内貼り 29. 機器用基礎 30. 空調用流体の水質基準 31. フィルターの予備品 | 1) 空調用の吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。 2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 3) 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を取付ける。点検口の大きさは、原則として400×600とする。 防振基礎の防振材及び振動絶縁効率は、標準仕様書および標準図によるほか、図示による。 日本冷凍空調工業会(冷凍空調機器用水質ガイドライン)による。 空気調和機器等又は7(特殊)の接着剤の100%を予備品(枠付)として納める。7(特殊)は総合数の(・50%・100%)に当たる7(特殊)を予備品(枠付)として納める。 自動巻取り及びグリーンフィルターは接着剤単位の100%を予備品として納める。 | 排 水 設 備 給 湯 設 備 消 火 設 備 ガ ス 設 備 浄 化 槽 設 備 雨 水 利 用 設 備 | 3. 汚水、雑排水及び汚物用水中モーターポンプ 4. 接続納付金等 5. 樹のコンクリート巻き 1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による 2. 弁類 3. 保温 1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による 2. 消火栓弁の耐圧 3. 保温 4. 屋内消火栓 5. 屋外消火栓 1. 都市ガス設備 2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による 3. ガス漏れ警報器 4. 充てん容器 5. バルク貯槽 6. ガスメーター 7. 容器廻りの配管 8. 容器転倒防止 1. 処理種別及び方式 ② その他 1. システム構成その他 2. 配管材料 3. 弁類 4. 量水器 5. 雨水電動逆断弁 6. 網かご形スクリーン 7. 薬液注入装置 | 水中形三相誘導電動機は、(※乾式・油封式)とする。 電動機の極数は図示による。 着脱装置、ストレーナー及び水中ケーブルの長さは図示による。 ※ 別途工事・本工事 小径径等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。) 1) ・保温付被覆鋼管・銅管・ステンレス鋼管 ・耐熱性ライニング鋼管・架橋リフレン管 2) 湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 ただし、公営水道に直結する部分及び特記部分は、10Kとする。 湯沸器の給排水口の臨む箇所は保温・(イ)・Ⅸを行う。 1) 屋内消火栓 一般配管用・配管用炭素鋼鋼管(白管) 地中配管用・消火用ポリエチレン管 ビット内 2) 連結送水管 一般配管用・圧力配管用炭素鋼鋼管(Sch40) 地中配管用・消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(STPG370-VS) 3) 一般配管用 ※ 10K・16K 1) 暖水タンクの保温 ※ 施工しない・施工する 2) 冷水タンクの保温 ※ 施工しない・施工する 3) 消火配管の保温は次による。 (屋外露出部は保温厚t50とする) ・ 屋内消火栓 ※ 施工しない・施工する ・ スプリンクラー ※ 施工しない・施工する ・ 連結送水 ※ 施工しない・施工する ・ 連結放水 ※ 施工しない・施工する ※ 広範囲型2号消火栓・2号消火栓 ・ 易操作1号消火栓・1号消火栓 開閉弁の材質は・銹鉄製(要部青銅製)・ステンレス鋳物製 箱の材質は・鋼板製・ステンレス鋼板製 ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。 1) 都市ガス ガス事業者の定めによる。 2) 液化石油ガス 一般配管用・配管用炭素鋼鋼管(白管) 地中埋設用・ポリエチレン被覆鋼管 ※ 不要 ・ 要(取付け位置は図示による。外部出力端子・不要・要) 警報器から制御盤、逆断弁までの電線管は別途工事とする。 ・ 10kg・20kg・50kg 本 ※ 借用・買取り ・ 縦型・横型 最大充てん量 kg ・ 借用 ※ 買取り 1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式(・直読・遠隔表示) 施工方法は標準図(施工73)の(a)・(b)・(c) 施工方法は標準図(施工74)の(a)・(b) ・ 小規模合併処理 (・ 担体流動生物濾過方式・嫌気分離接触床方式) ・ 合併処理() 図示による。 図示による。 1) 一般配管用・ポリ粉体鋼管(SGP-PA)(SGP-FPA) 2) 土間配管用・ポリ粉体鋼管(SGP-PD)(SGP-FPD) 3) 地中配管用・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP) 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 4. 量水器 5. 雨水電動逆断弁 6. 網かご形スクリーン 構成その他は図示による。 図示による。 1) 一般配管用・ポリ粉体鋼管(SGP-PA)(SGP-FPA) 2) 土間配管用・ポリ粉体鋼管(SGP-PD)(SGP-FPD) 3) 地中配管用・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP) 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 4. 量水器 5. 雨水電動逆断弁 6. 網かご形スクリーン 構成その他は図示による。 図示による。 1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品・標準図(機材57) 2) 子メーター用 ※ 標準図(機材57)・水道事業者の指定品 ・ 標準仕様書による・水道事業者指定品 ・ 定流量弁を定水位調整弁の事前設置する。 逆断弁の駆動方式は(※電気式・機械式)とする。 ※ 合成樹脂製・ステンレス製 寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm 図示による 寸法 ※ 全長約1300mm 図示による 1) 屋外の水栓は○キーハンドル 2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。 給水栓用配管の接続口を(※設ける・設けない)ものとする。 2槽式の場合は、連通管を設けるものとする。 ※ 別途工事・本工事 弁・ガス、散水栓・ガス等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。) | 石綿含有設備資材の処理について I. 石綿含有する設備資材の撤去方法 1. 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。 撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 2. 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考に、計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (1) ダクトフランジ部 ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクトの切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。 (2) たわみ継手フランジ部 たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。 (3) 配管フランジ部 配管フランジ部におけるガスケット撤去は、原則として切断による方法とする。 (4) 成形保温材付き配管の曲線部 成形保温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。 2) ビニルシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めと密閉する。 3) 配管の切断は、密閉部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 II. 石綿含有する設備資材の処理方法(※撤出費・運搬費・処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき構外撤出適切処理とする。 (3) 構外撤出適切処理後、監督職員へ報告書を提出する。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。 フランジ外周部に飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等 100 100 100 石綿含有ガスケット ダクト切断部 機器切断部 配管切断箇所 成形保温材に飛散抑制剤の塗布 成形保温材前後の保温材撤去 配管切断箇所 100 ビニルシート等で成形保温材をつまみ、テープ等で密閉 ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図 S=NS 成形保温材付き配管撤去要領図 S=NS |
|---------|---|--|--|---------|-----------|---|--|--|--------|----|--------|----|--------|----|----|-------|-------|-------|-----|---|---|----|-------|-------|-------|-----|---|---|---|--|---|--|--|---|
| | 外気条件 | | 室内(調整目標値) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度(DB) | 湿度 | 温度(DB) | 湿度 | 温度(DB) | 湿度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 夏季 | 34.9℃ | 51.0% | 28.0℃ | 50% | ℃ | % | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 冬季 | -0.2℃ | 69.9% | 19.0℃ | 40% | ℃ | % | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 工事開始前に消防署の指導のもと学校関係者と連携をとり、消防訓練の強化と工事期間中の防火管理の徹底をすること。 建築物解体工事(機械設備の部) | I. 工事概要(解体工事の部) 1. 工事内容(解体工事の部) 1) 特記仕様書(機械設備の部)1. 2. 建物概要に記載された取り壊し建物等の撤去を行う。 2) 上記撤去範囲部分は、地中埋設部分を含めて全て撤去する。 アスファルト舗装及びコンクリート舗装の路盤撤去、埋め戻し・整地は別途建築工事とする。 3) 本工事による撤去機器、配管及び樹類は、場内の指定場所に集積する。(図面は参考とする) (1) 建物については、 ①重機作業に影響のある以下の機器を、建築工事の重機作業に先行して撤去する。 図示された機器のうち、太線またはハッチング等により明示されたもの。 (コンクリート基礎の撤去は建築に含む。) ②人体及び地球環境に影響を及ぼす冷媒等の回収・破壊処理を行う。 フロンガスは「冷媒の回収方法」についてによる。 ③熱源の残油はタンク及び配管内を含み回収し、適切に処理するものとし、(※本工事・別途工事)とする。 (2) その他の機器及び配管・ダクト類について、処理に関する記載のない事項は、全て重機による取り壊しとする。 (3) 屋外埋設機器及び配管・樹類については全て撤去する。 図示された樹類のうち、量水器樹、弁樹、散水栓BOX、ため樹、インパット樹は、建築工事の重機作業の後に機械設備にて撤去する。 配管およびプラスチック樹は建築工事の重機作業に含む。 (4) 給水、排水、ガス設備については指定工事店により、閉栓工事を行う。 4) 撤去する配管、ダクト(付属品含む)の保温材の分離は原則として中間処理上にて行う。 5) 浄化槽内の汚泥汲取、清掃、消毒を施工した後、撤去する。 (浄化槽内の汚泥汲取、清掃、消毒は施設管理者側で実施し本工事では実施しない) II. 工事仕様(解体工事の部) 1. 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」(以下、「解体共通仕様書」という。))により、解体共通仕様書に記載されていない事項は、特記仕様書(機械設備工事の部)による。 | 宇根山家族旅行村浄化槽改修工事 特記仕様書(工種別事項) 三原市都市部建築課 | M 02 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |



全体配置図



宇根山家族旅行村
三原市久井町吉田10385番地4

付近見取図

工事対象箇所

株式会社エネ・グリーン
一級建築士事務所
広島県知事登録16(1) 第4814号
一級建築士登録番号188695号 大下 勝見 印

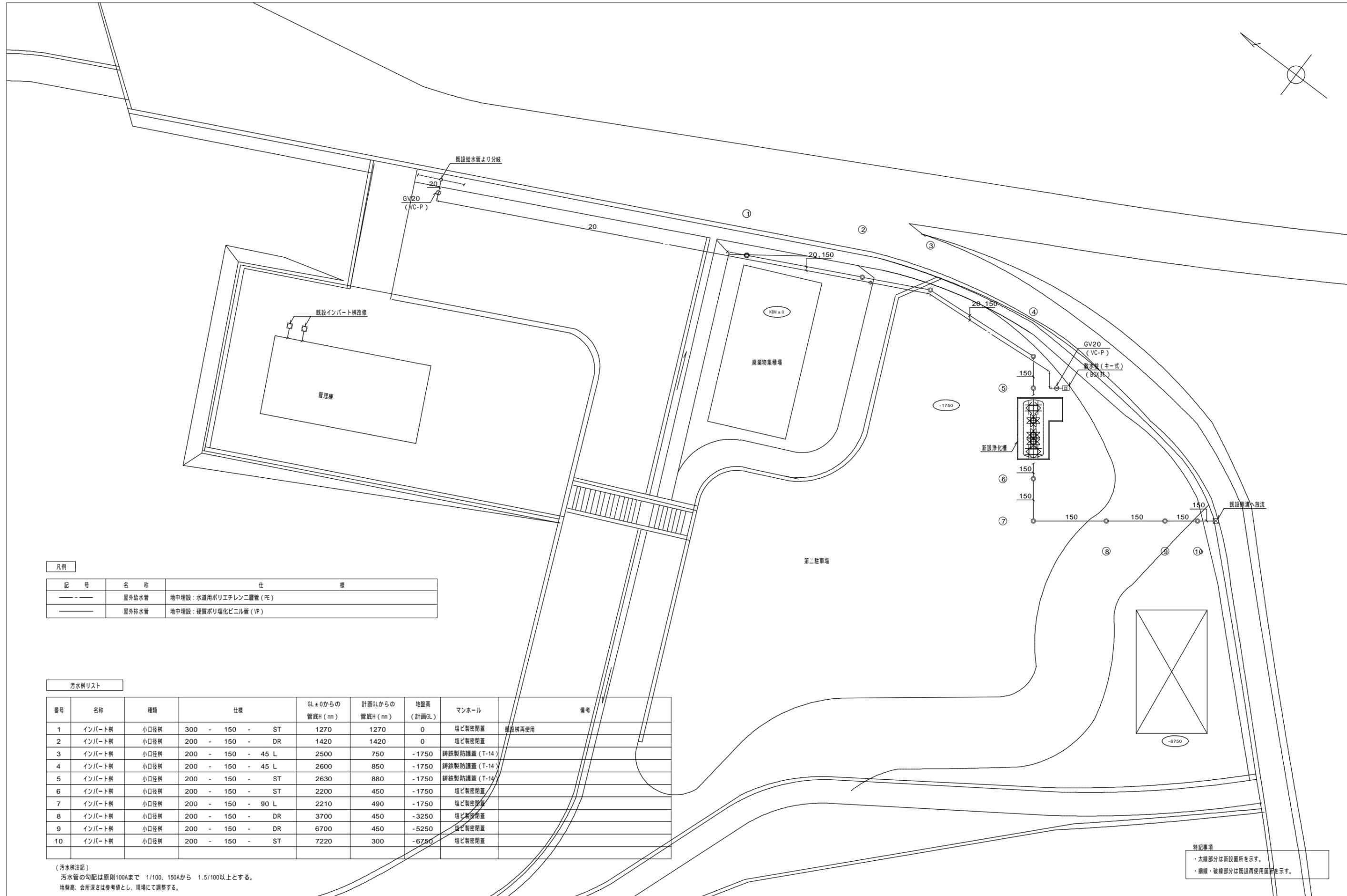
工事名
宇根山家族旅行村浄化槽改修工事

図面内容・縮尺
全体配置図・付近見取図

S=1/1000
A2版→100%
A3版→70.7%

設計
令和6年

種別
図面番号
M-03



凡例

| 記号 | 名称 | 仕様 |
|-----|-------|------------------------|
| --- | 屋外給水管 | 地中埋設：水道用ポリエチレン二層管 (PE) |
| --- | 屋外排水管 | 地中埋設：硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) |

汚水樹リスト

| 番号 | 名称 | 種類 | 仕様 | GL±0からの管底H (mm) | 計画GLからの管底H (mm) | 地盤高 (計画GL) | マンホール | 備考 |
|----|--------|------|------------------|-----------------|-----------------|------------|---------------|--------|
| 1 | インバート樹 | 小口径樹 | 300 - 150 - ST | 1270 | 1270 | 0 | 塩ビ製密閉蓋 | 既設樹再使用 |
| 2 | インバート樹 | 小口径樹 | 200 - 150 - DR | 1420 | 1420 | 0 | 塩ビ製密閉蓋 | |
| 3 | インバート樹 | 小口径樹 | 200 - 150 - 45 L | 2500 | 750 | -1750 | 鋼鉄製防護蓋 (T-14) | |
| 4 | インバート樹 | 小口径樹 | 200 - 150 - 45 L | 2600 | 850 | -1750 | 鋼鉄製防護蓋 (T-14) | |
| 5 | インバート樹 | 小口径樹 | 200 - 150 - ST | 2630 | 880 | -1750 | 鋼鉄製防護蓋 (T-14) | |
| 6 | インバート樹 | 小口径樹 | 200 - 150 - ST | 2200 | 450 | -1750 | 塩ビ製密閉蓋 | |
| 7 | インバート樹 | 小口径樹 | 200 - 150 - 90 L | 2210 | 490 | -1750 | 塩ビ製密閉蓋 | |
| 8 | インバート樹 | 小口径樹 | 200 - 150 - DR | 3700 | 450 | -3250 | 塩ビ製密閉蓋 | |
| 9 | インバート樹 | 小口径樹 | 200 - 150 - DR | 6700 | 450 | -5250 | 塩ビ製密閉蓋 | |
| 10 | インバート樹 | 小口径樹 | 200 - 150 - ST | 7220 | 300 | -6750 | 塩ビ製密閉蓋 | |

(汚水樹注記)
 汚水管の勾配は原則100Aまで 1/100、150Aから 1.5/100以上とする。
 地盤高、会所深さは参考値とし、現場にて調整する。

特記事項
 ・太線部分は新設箇所を示す。
 ・細線・破線部分は既設再使用箇所を示す。

株式会社エネグリーン
 一級建築士事務所
 広島県知事登録16(1) 第4814号
 一級建築士登録番号188695号 大下 勝見 印

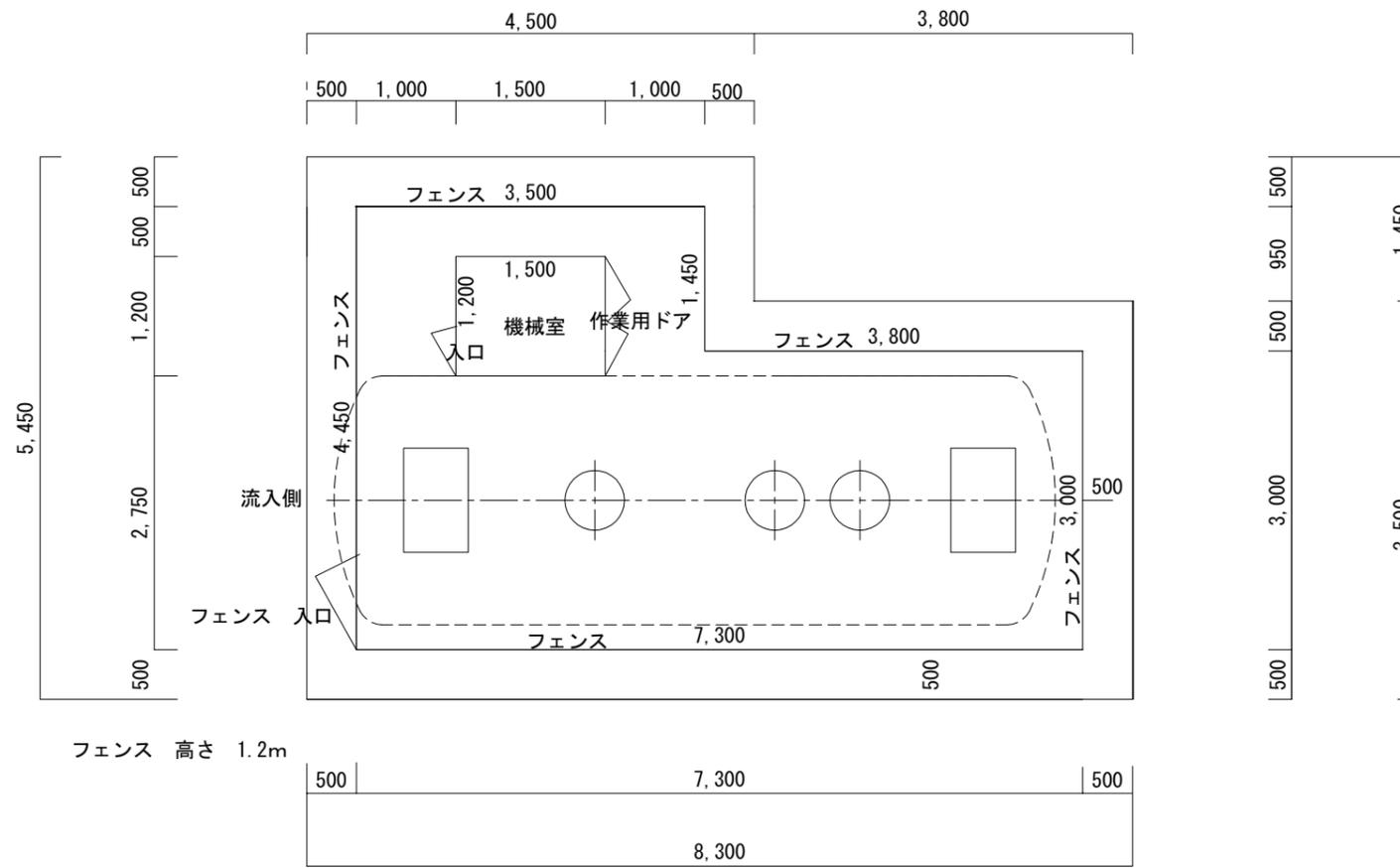
工事名
 宇根山家族旅行村浄化槽改修工事

図面内容・縮尺
 衛生設備 配置図・凡例・樹リスト (新設)

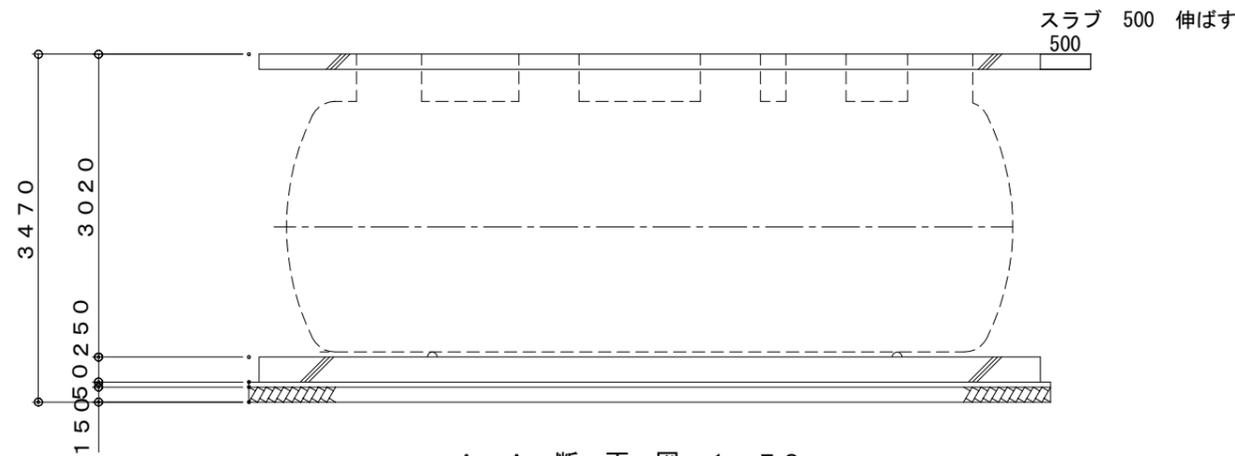
S=1/300
 A2版 100%
 A3版 70.7%

設計
 令和6年

種別
 図面番号
 M-04



床 伏 図 1 : 5 0



A-A 断 面 図 1 : 5 0

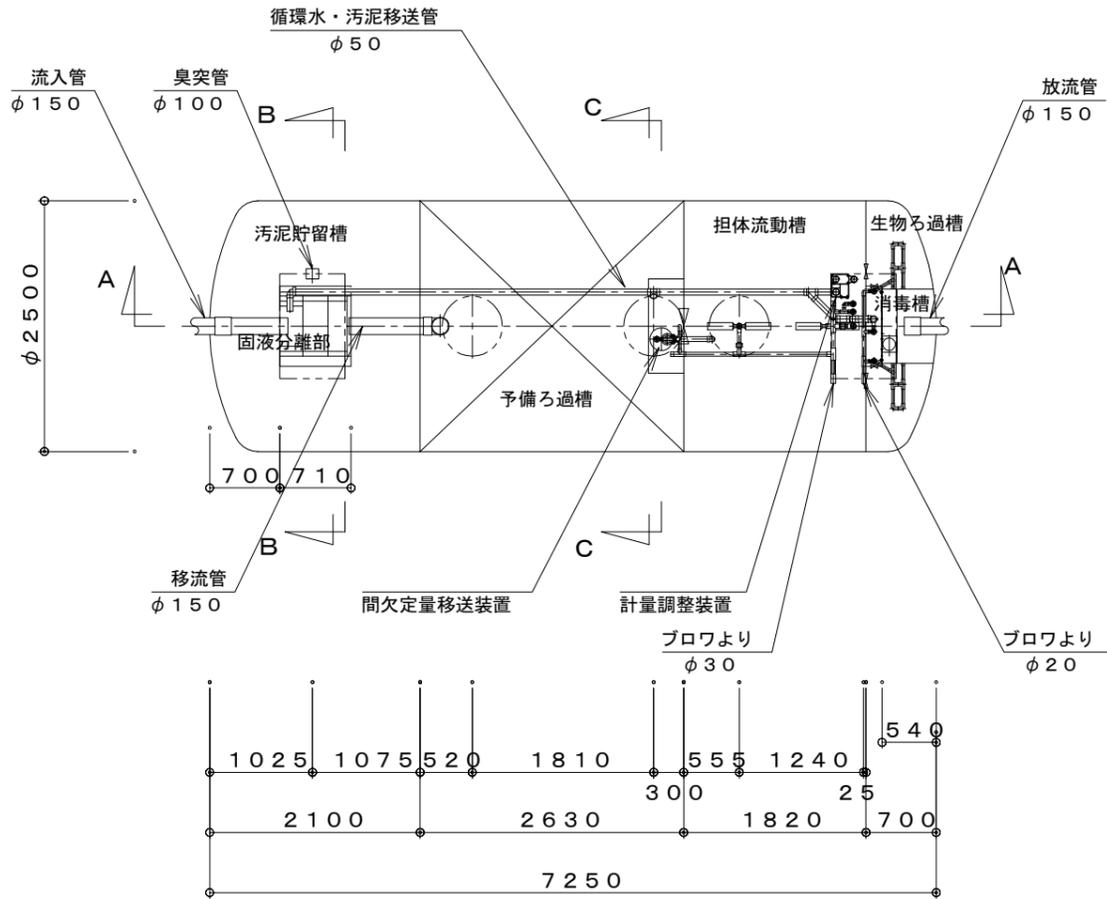
建築基準法第68条の26第1項の規定に基づき、同法施行令第35条第1項の大臣認定による固液分離型流量調整付担体流動生物ろ過循環方式

| | | |
|--------|---------------------|---------------------|
| 型式適合認定 | 認定番号 | 型01Ca f O a 1014564 |
| | 認定年月日 | 平成30年1月15日 |
| 型式認定 | 認定番号 | 7-22K-H-002 |
| | 認定年月日 | 令和4年10月1日 |
| 型式 | アールエコ浄化槽 AXN114A3型 | |
| 処理対象人員 | 114人 | |
| 日平均汚水量 | 15m ³ /日 | |
| 流入BOD | 320mg/L | |
| 放流BOD | 20mg/L | |

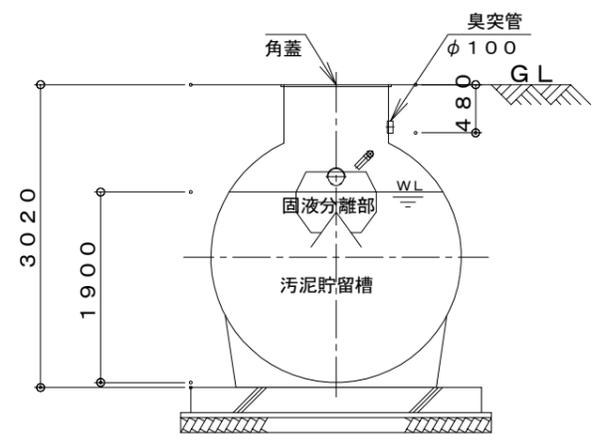
| 項目 | 設計容量/m |
|---------|-----------|
| 汚泥貯留槽 | 7.725 |
| (固液分離部) | (0.187) |
| 予備ろ過槽 | 10.527 |
| (流量調整部) | (2.763) |
| 担体流動槽 | 8.011 |
| 生物ろ過槽 | 2.054 |
| 消毒槽 | 0.219 |
| 総容量 | 28.536 |

| 機器名 | 口径 | 出力 kw | 相・電圧 | 吐出量 m ³ /min | 台数 |
|-----|-----|-------|---------|-------------------------|----|
| プロフ | 32A | 0.75 | 三相・200V | 0.63 | 2 |
| 電磁弁 | 20A | 0.01 | 単相・200V | | 1 |

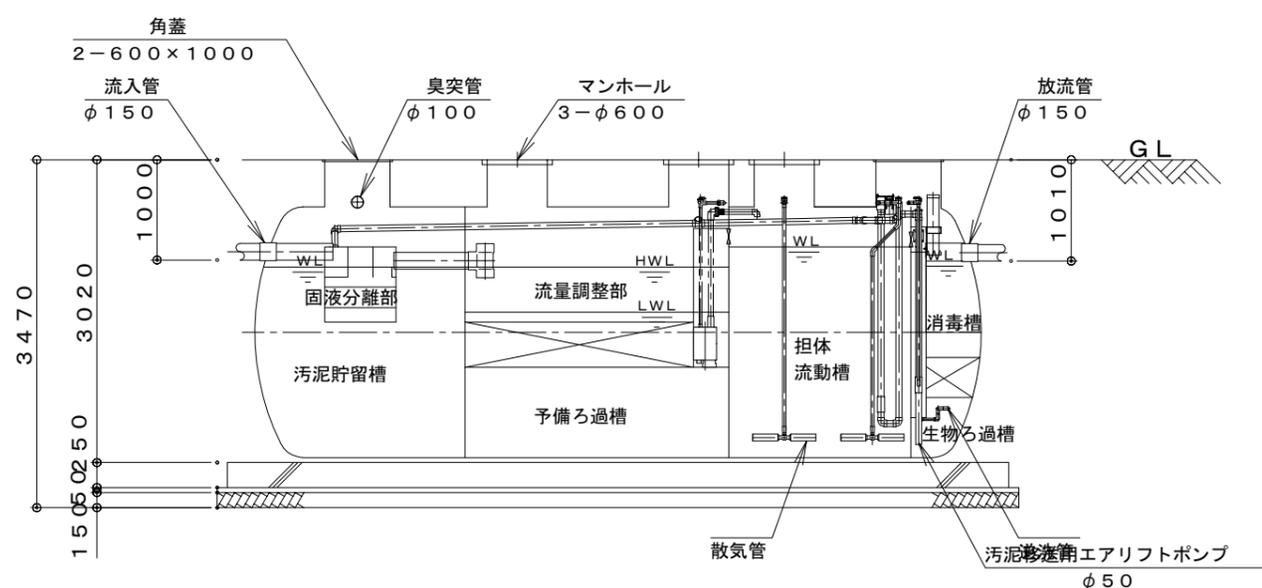
※管理用水栓は10m以内に設置すること（浄化槽工事範囲外）
 ※全高にはかさ上げ250H含む



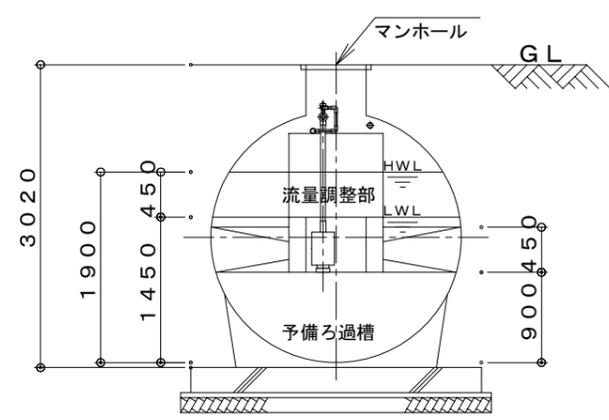
平面図 1:50



B-B 断面図 1:50



A-A 断面図 1:50



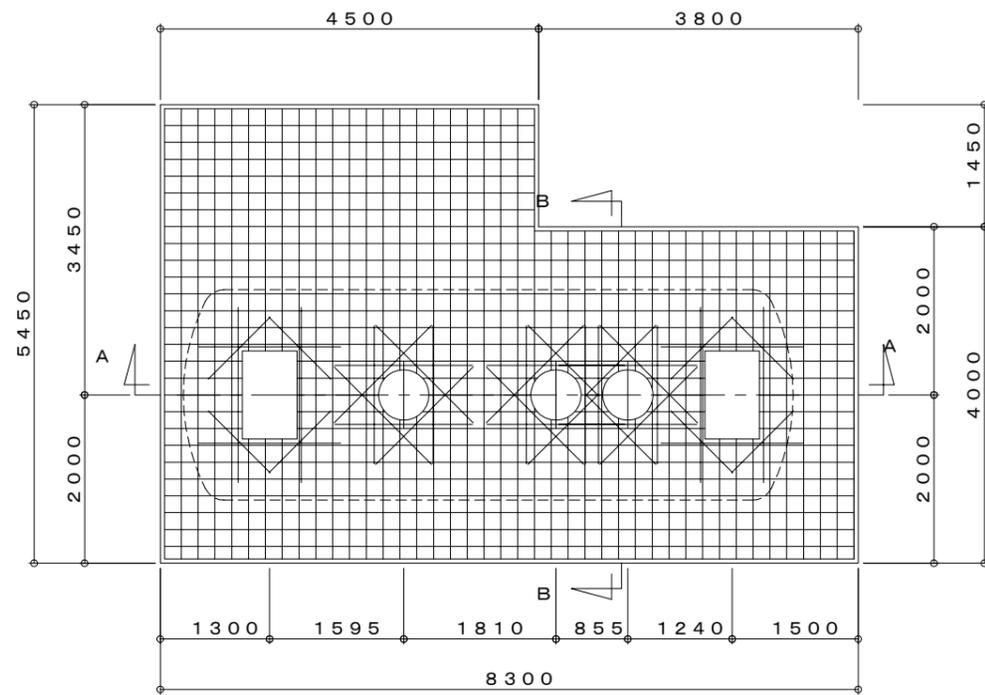
C-C 断面図 1:50

株式会社エネグリーン
 一級建築士事務所
 広島県知事登録16(1) 第4814号
 一級建築士登録番号188695号 大下 勝見 印

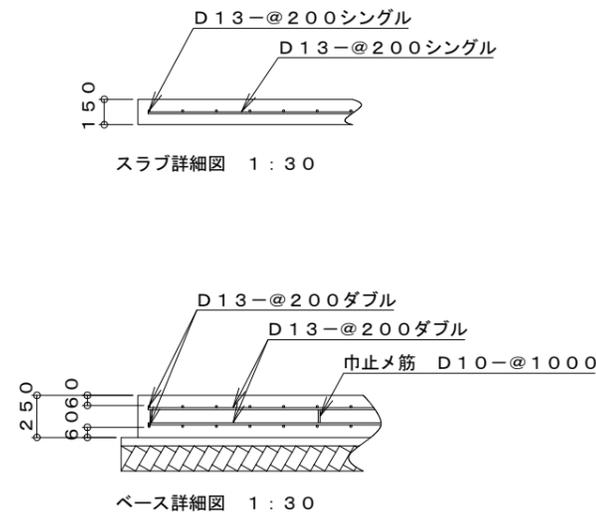
工事名 宇根山家族旅行村浄化槽改修工事

図面内容・縮尺 排水処理設備 構造図(参考図)

設計 令和6年
 種別 M-06

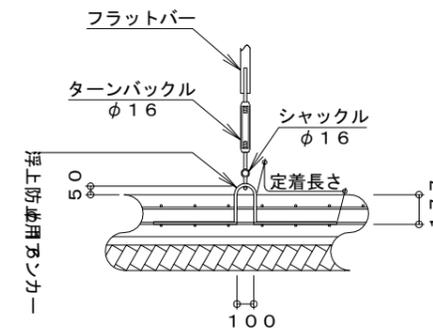


床伏図 1:60



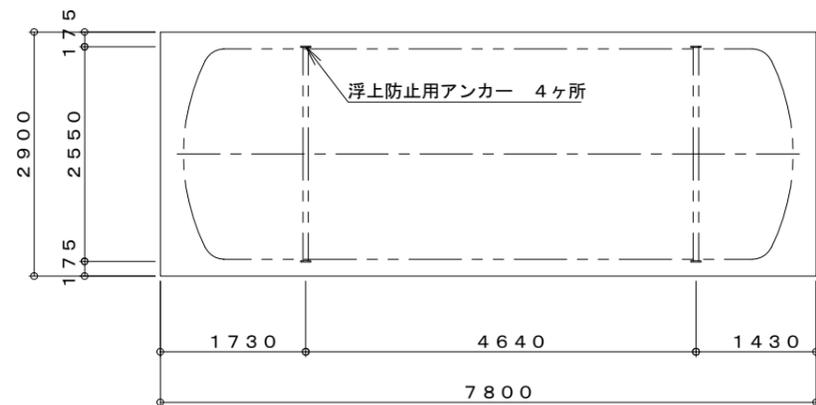
スラブ詳細図 1:30

ベース詳細図 1:30

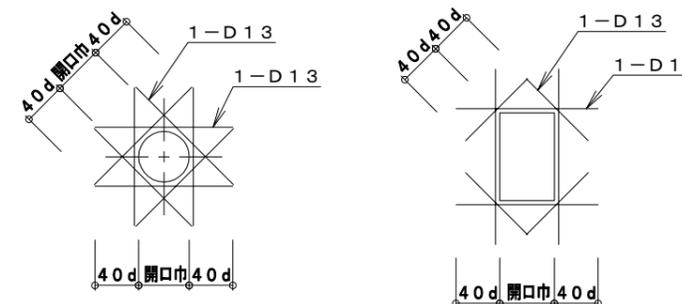


浮上防止用フラットバー詳細図 1:30

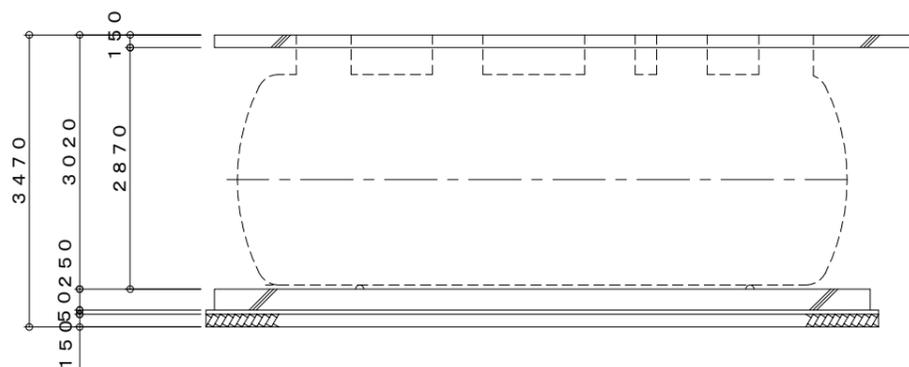
※ターンバックルは片側のみとする



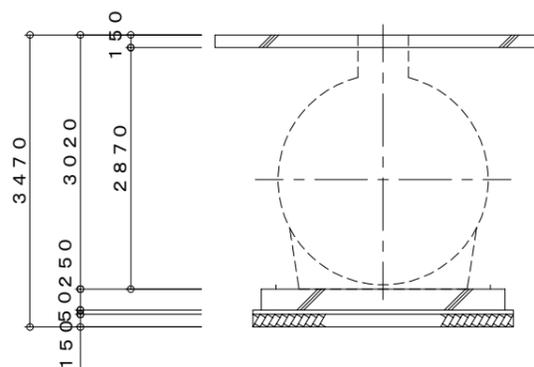
基礎伏図 1:60



開口補強筋詳細図



A-A断面図 1:60

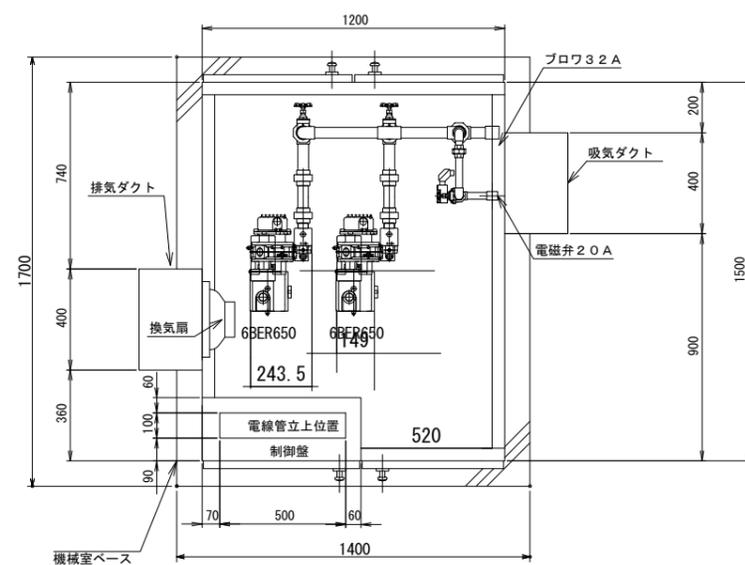
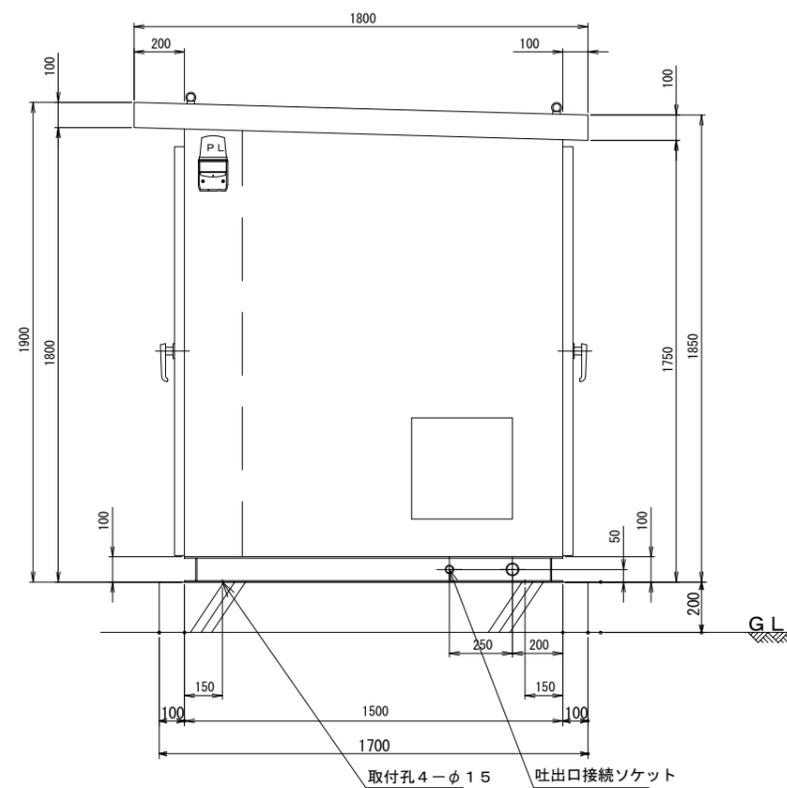
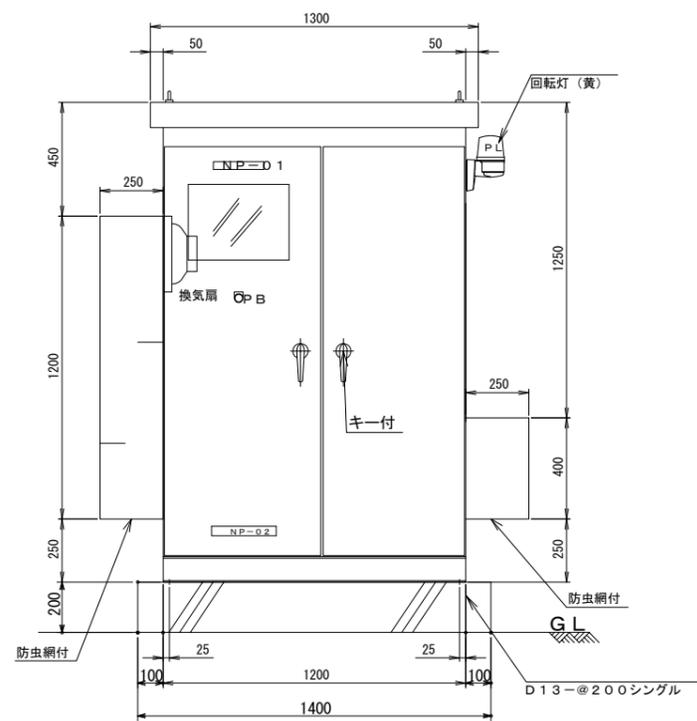


B-B断面図 1:60

| 一般事項 | |
|--------|----------------------|
| コンクリート | 設計基準強度 $FC=21N/mm^2$ |
| 鉄筋 | 異形棒鋼 SD295A |
| 定着及継手 | $40d$ d : 鉄筋径 |

※アンカーは土木工事に含む(材工共)

※全高にはかさ上げ250H含む



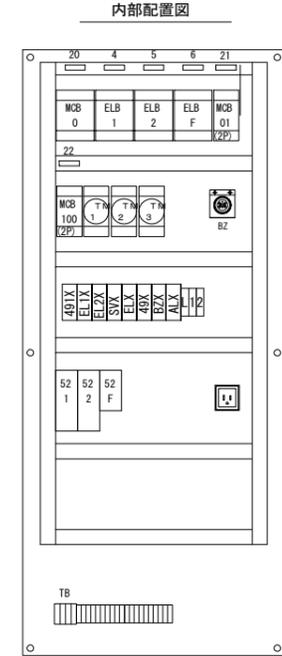
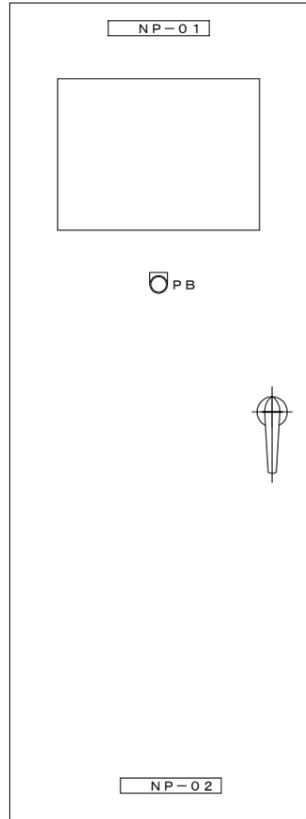
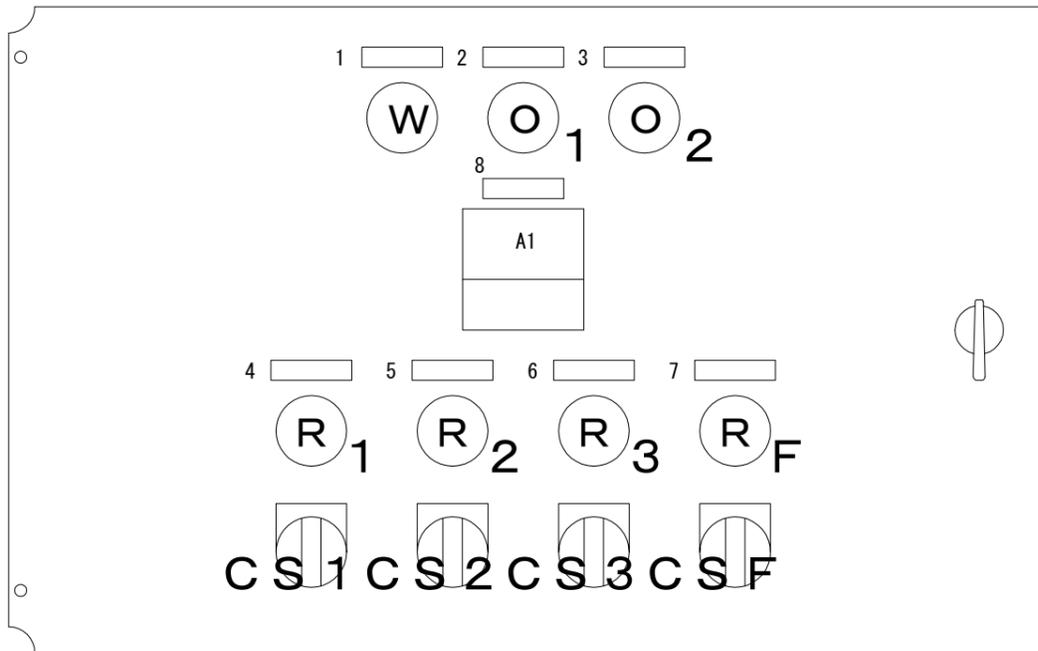
※配管図は、参考図とする。

本体仕様

1. 構造 屋外自立防水型
2. 材料 SPHC t=2.3
100×50 チャンネル
3. 塗装色 中外共マンセル10YR4/4 (塗装は指定色仕上げとする)
4. 防音材 内部グラスウール32K (25t)

特記事項

1. 配管はプロワ及び電磁弁を含む
2. プロワは防振ゴムにて取付け。
3. 換気扇は、サーモを付属する。

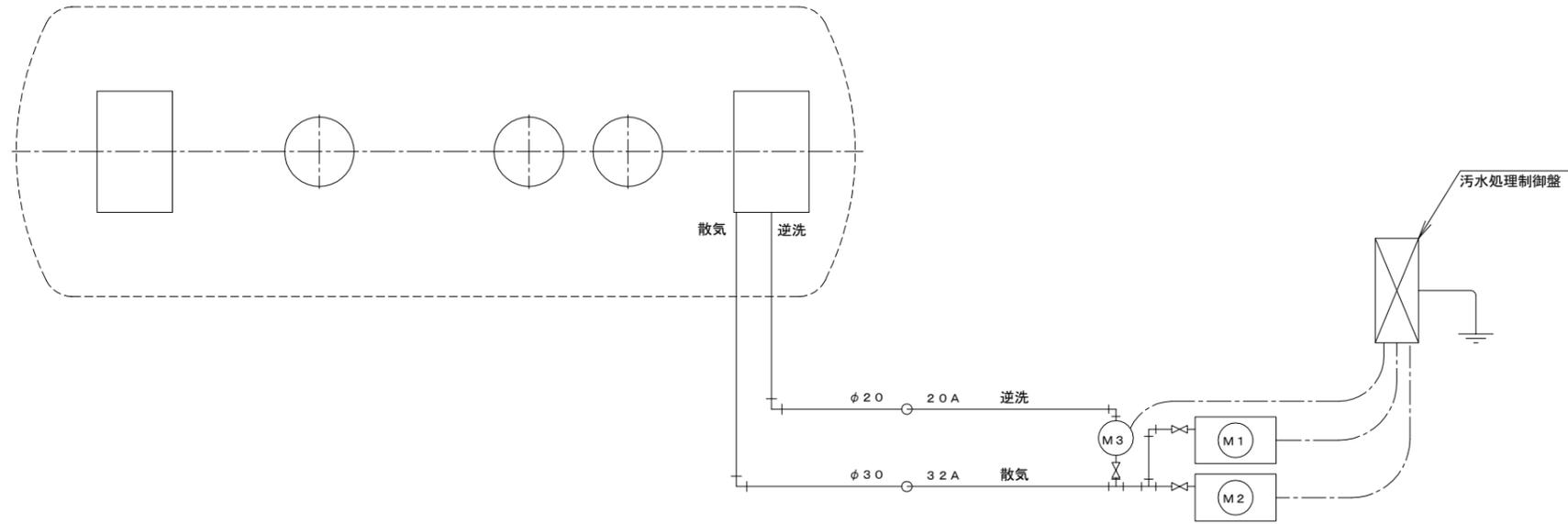


外部端子接続

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|--------------|---|---|---|-------|----|-------|---|-----|----|-----|----|-----|----|-----|-----|----|----|----|----|-----|--|-----|----|-----|----|--------------|----|---|---|---|
| TB | R | S | T | E | UI | V1 | W1 | E | U2 | V2 | W2 | UF | VF | WF | E | SY1 | SC | B1 | B2 | A1 | A2 | | FL | FL | TH | TH | PL | PL | X | Y | E |
| | 200V 入力電源 | | | | NO. 1 | | NO. 2 | | 有電圧 | | 無電圧 | | 換気扇 | | 電磁弁 | | 警報 | | 予備 | | 蛍光灯 | | サーモ | | 回転灯 | | 100V 入力電源 | | | | |
| | | | | | プロワ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

銘板表

| 記号 | 名称 |
|-------|-----------|
| NP-01 | 汚水処理制御盤 |
| NP-02 | 株式会社アールエコ |
| 1 | 電源 |
| 2 | 漏電 |
| 3 | 過負荷 |
| 4 | NO. 1プロワ |
| 5 | NO. 2プロワ |
| 6 | 電磁弁 |
| 7 | 換気扇 |
| 8 | プロワ |
| 20 | 主幹 |
| 21 | 操作電源 |
| 22 | 100V電源 |
| 30 | 電源 |
| 31 | 一括警報 |
| SS1 | 非常入切 |
| PB | 警報停止 |



エア配管 及び 動力配線図

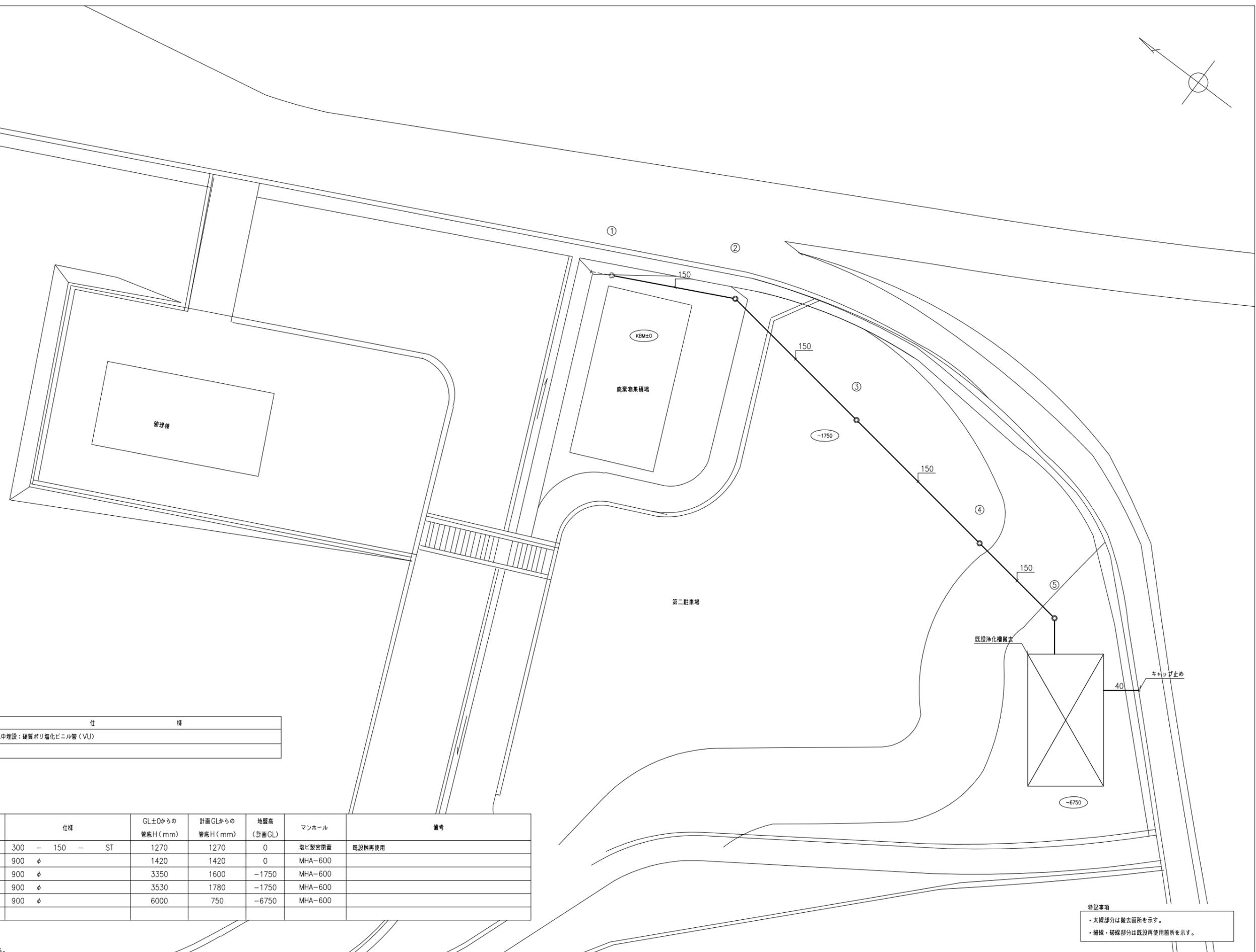
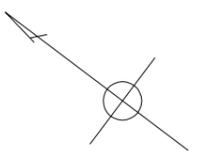
※エア配管はメイン管を散気へ、電磁弁配管側を逆洗へ正しく配管して下さい。

(実線) エア配管
 (1点鎖線) 動力配線

特記事項

- 1 一次側及び外部警報用配線配管工事は別途工事とする。
- 2 電磁弁は必ず本体が水平（コイルが垂直）になるように取付けること。

| 機器負荷仕様表 | | | | | |
|------------|----------|--------|------|-------|---------|
| 記号 | 機器名称 | 出力 | 電圧 | 電線 | 電線管(参考) |
| M1 | ブロワNo. 1 | 0.75kw | 200V | CV2-4 | PF22 |
| M2 | ブロワNo. 2 | 0.75kw | 200V | CV2-4 | PF22 |
| M3 | 電磁弁 | 0.01kw | 200V | CV2-4 | PF22 |
| 制御盤接地線(D種) | | - | - | - | - |



| 凡例 | | |
|----|-------|---------------------|
| 記号 | 名称 | 仕様 |
| | 屋外排水管 | 地中埋設：硬質ポリ塩化ビニル管（VU） |

| 汚水樹リスト | | | | | | | | | |
|--------|--------|------|----------------|-----------------|-----------------|------------|---------|--------|--|
| 番号 | 名称 | 種類 | 仕様 | GL±0からの管底H (mm) | 計画GLからの管底H (mm) | 地盤高 (計画GL) | マンホール | 備考 | |
| 1 | インバート樹 | 小口径樹 | 300 - 150 - ST | 1270 | 1270 | 0 | 塩ビ製密閉蓋 | 既設樹再利用 | |
| 2 | インバート樹 | RC樹 | 900 φ | 1420 | 1420 | 0 | MHA-600 | | |
| 3 | インバート樹 | RC樹 | 900 φ | 3350 | 1600 | -1750 | MHA-600 | | |
| 4 | インバート樹 | RC樹 | 900 φ | 3530 | 1780 | -1750 | MHA-600 | | |
| 5 | インバート樹 | RC樹 | 900 φ | 6000 | 750 | -6750 | MHA-600 | | |

（汚水樹注記）
 ※汚水管の勾配は1/100以上とする。
 ※地盤高、会所深さは参考値とし、現場にて調整する。

特記事項
 ・太線部分は撤去箇所を示す。
 ・細線・破線部分は既設再使用箇所を示す。

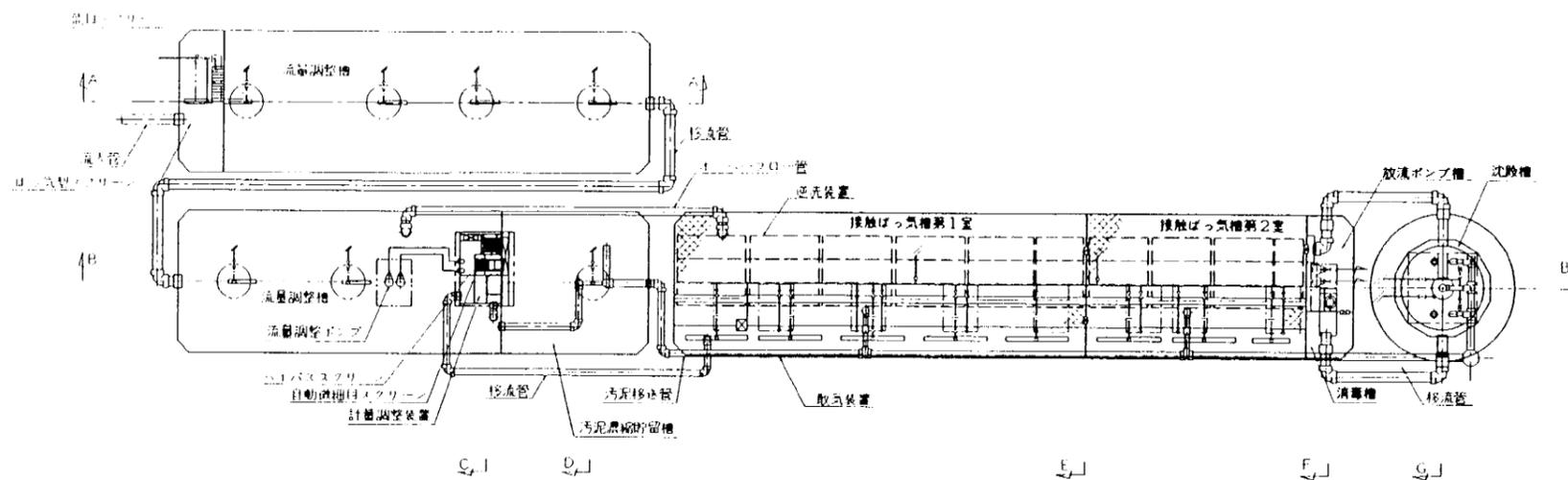
株式会社 エネ・グリーン
 一級建築士事務所
 広島県知事登録16(1) 第4814号
 一級建築士登録番号188695号 大下 勝見 印

工事名
 宇根山家族旅行村浄化槽改修工事

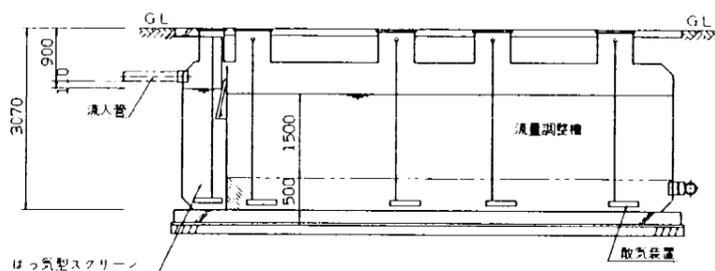
図面内容・縮尺
 衛生設備 配置図・凡例・樹リスト（撤去）

S=1/300
 A2版→100%
 A3版→70.7%
 設計
 令和6年
 図面番号
 M-12

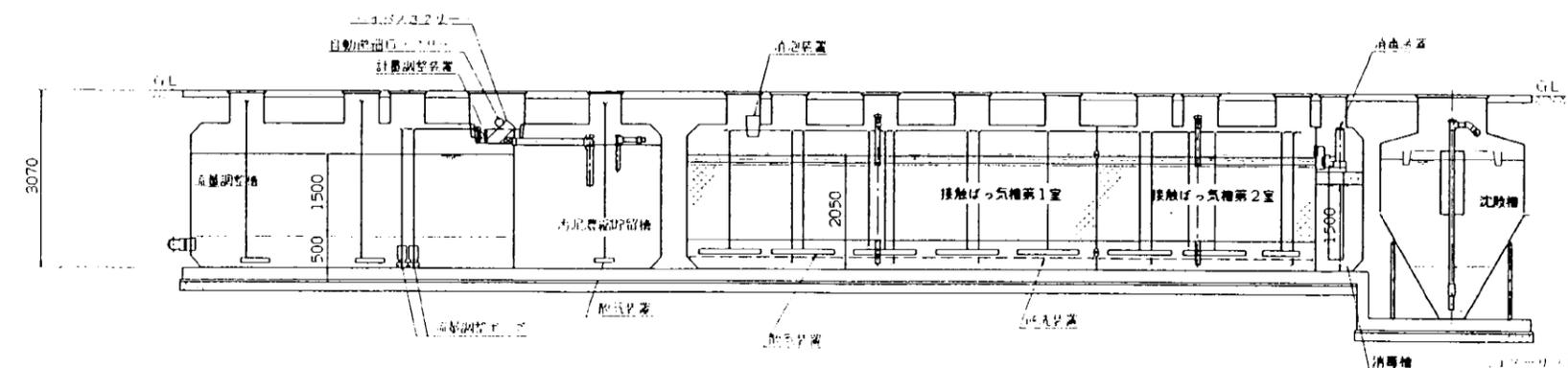
種別
 M-12



槽内部平面図



A - A 断面図



B - B 断面図

浄化槽参考図面 N/S

浄化槽撤去内容

機器撤去

- ・浄化槽内のポンプ、スクリーン、制御盤撤去を行う。
- ・ブローヤ庫（コンクリートブロック）の撤去を行う。
- ・浄化槽上部のマンホールを撤去し閉止処理を行う。
- ・浄化槽内の配管、ろ材の撤去を行う。

| | | | | |
|-----------|---|----------------------------|---|--|
| 型式 | CXR20-J | 番号 | 91-6BR-005-5 | 300人槽 20 PPM 57.00m ³ /D |
| 機種記号 | 71R0-6/71R/95AP/4S160 | 管底高上 | 流入管底 FL - 900 mm 浄化槽全高 3070 mm 標準(2720)+嵩上(350) | |
| | | 特注内容 | 鏡板下半分3PLY増 新20ppm | |
| | | 送気口 | ばっ気槽 φ40×2ヶ 流調槽 φ32×1ヶ スクリーン・貯留槽 φ20×1ヶ 原水ばっ気槽 ヶ | |
| | | 組 | 放流ばっ気 3-SFT × 2ヶ 調整ばっ気 U2-3T × 2ヶ 原水ばっ気 × ヶ 濾過ばっ気 × ヶ 逆洗ばっ気 × ヶ 散気ロー × ヶ 原水ロー × ヶ 調整ロー × ヶ 水中ロー × ヶ 水中ロー × ヶ | |
| ポンプ槽 | 型式 外径 mm 全高 mm 流入管底 mm 流入口径 mm | | | |
| マンホール | 中耐 | φ600 2ヶ 600*800 11ヶ | φ600 340.H 2ヶ 600*800 350.H 11ヶ | 工場 柏原 |
| フェッカープレート | WPXL-5 | 450*800 2ヶ 1200*1200 1ヶ | 450*800 350.H 2ヶ 1200*1200 H ヶ | ボルトセット 2ヶ ナットセット 2ヶ Tレンチ 1丁 |
| 嵩上材 | T-PL | 900*1140 1ヶ 600*1230 ヶ | 900*1140 350.H 1ヶ 600*1230 H ヶ | |
| 浮上防止金具 | CXR SET 原水ばっ気 4S1 SET 台 | | 配管支持金具 ヶ U*φ100 ヶ 125 ヶ 150 ヶ | |
| 付属機器 | 同時手配 | 電源 | 60Hz 200V | |
| 制御盤 | 型式 NC30TOSBC 屋外自立 ばザー付き コンテナー付き 色 5Y7/1 | | | 新20ppm仕様 特注機器 |
| 散気ロー | 2台 VPS1800 φ50 2.2kw ベルト かん | | | |
| 原水ロー | 0台 φ kw かん | | | |
| 調整ロー | 1台 VPS 650 φ32 0.75kw ベルト かん | | | |
| フロートスイッチ | 2ヶ RF-4 | | | |
| 電磁弁 | 2ヶ PKA-06-27M | | | |
| 薬剤筒 | 1ヶ No. A(No. 2) | | | |
| 消毒剤 | 2袋 ナイクロ 5KG/袋 | | | |
| 消泡剤 | 2缶 KM-73 1%/缶 | | | |
| 汚泥ばっ気 | 0台 | | | |
| 自動スクリーン | 1台 EBR-20A 200V×0.1kw | | | |
| 手動スクリーン | 0台 EBR-50M | | | |
| ばッススクリーン | 1台 BST-1 | | | |

浄化槽参考仕様書

株式会社エネグリーン

一級建築士事務所
広島県知事登録16(1) 第4814号
一級建築士登録番号188695号 大下 勝見 印

工事名

宇根山家族旅行村浄化槽改修工事

図面内容・縮尺

S=N/S

設計

種別

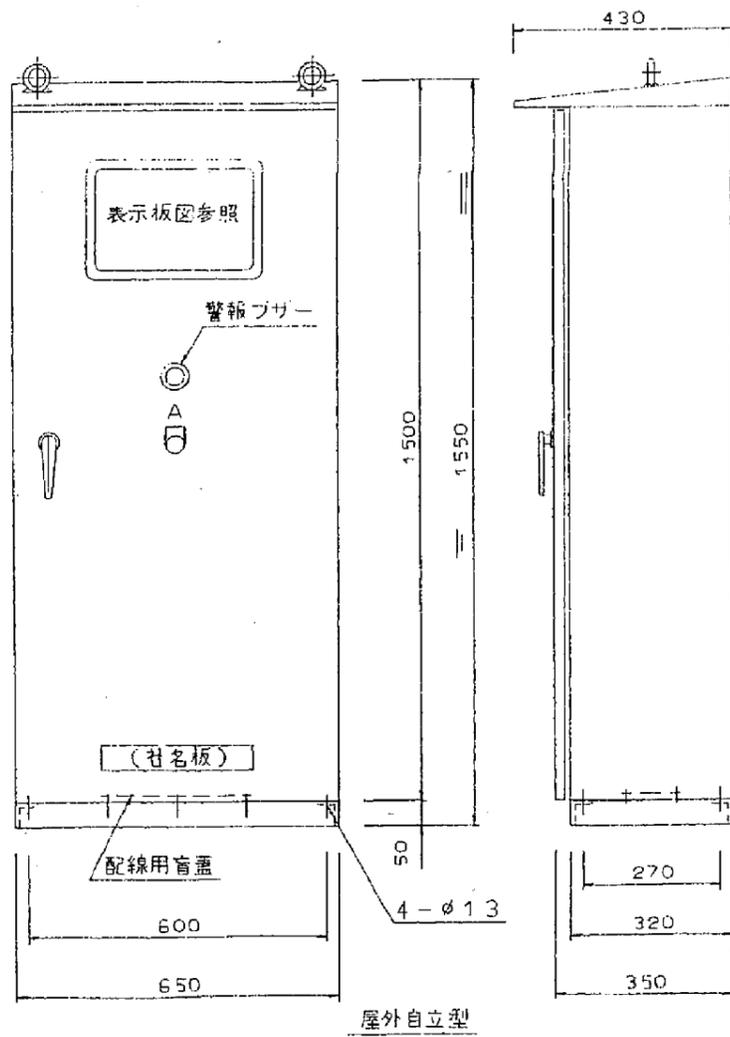
排水処理設備 参考構造図・仕様書(撤去)

A2版-100%
A3版-70.7%

令和6年

図面番号

M-13



塗装色：マンセル5Y7/1

| 記号 | 銘板記入文字 |
|----|--------|
| A | ブザー停止 |

表示板

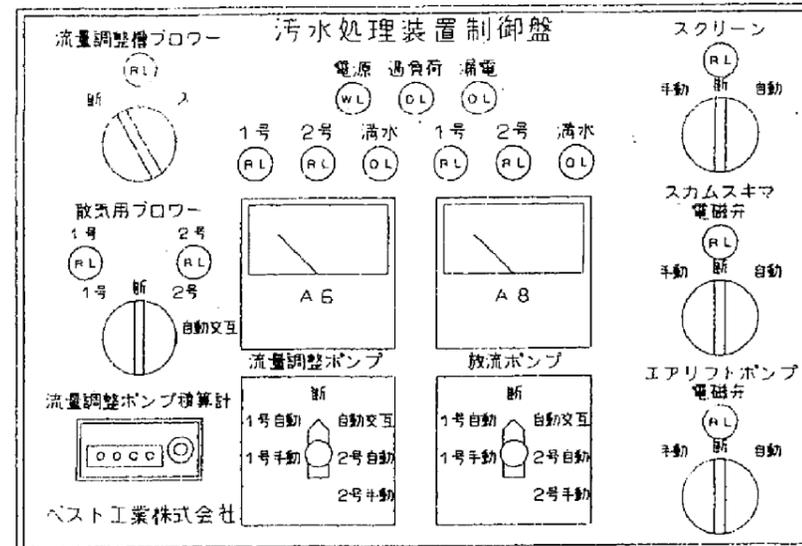


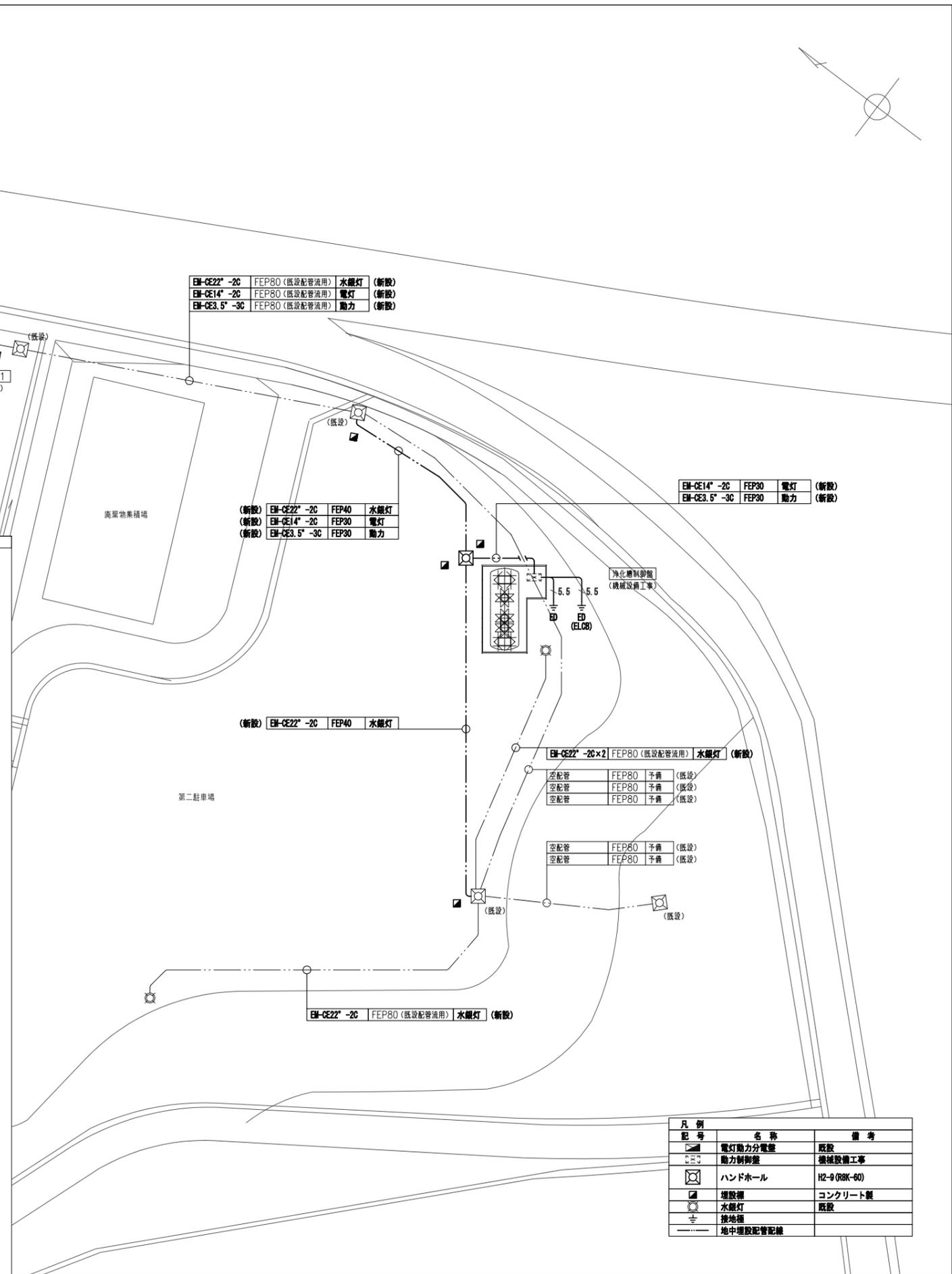
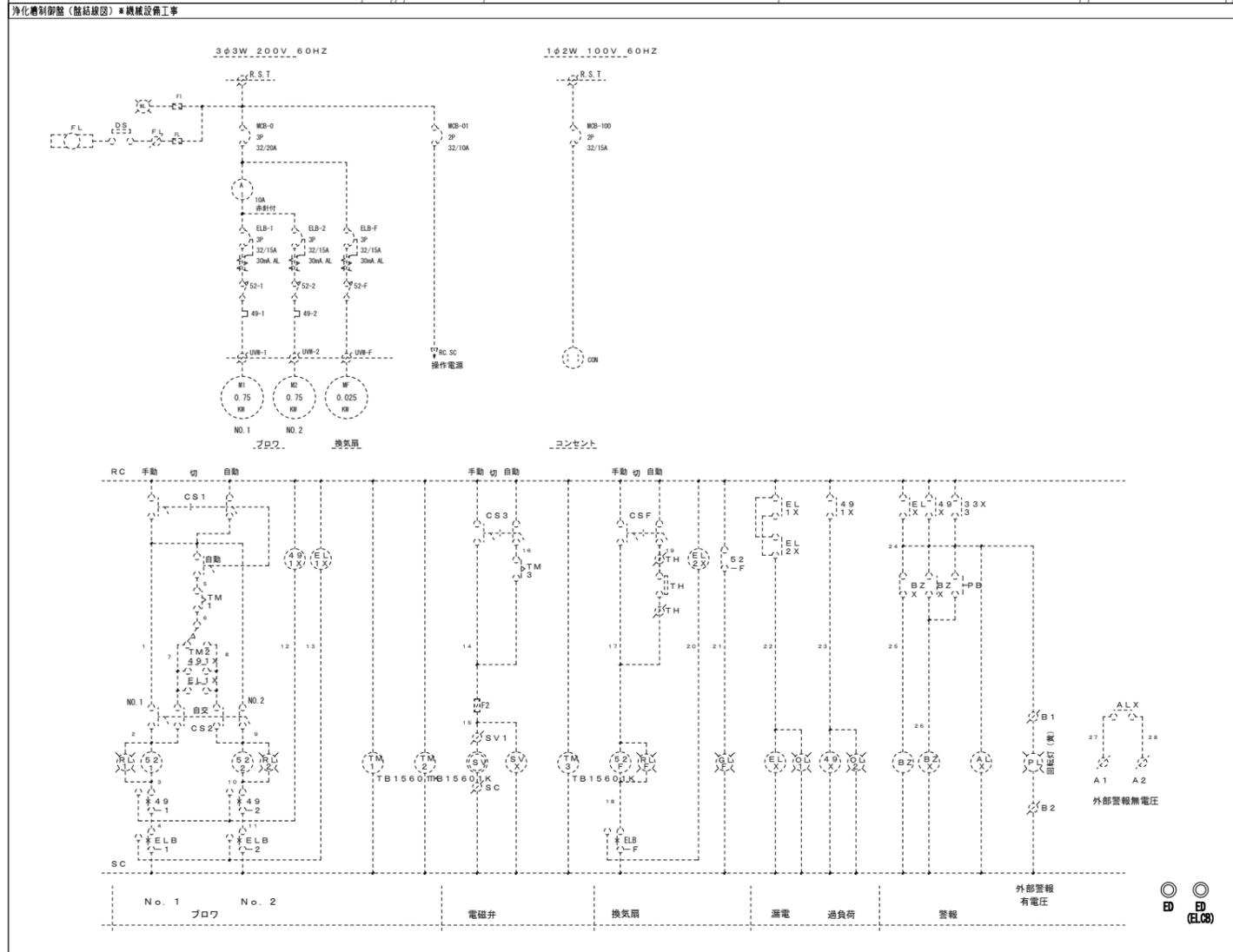
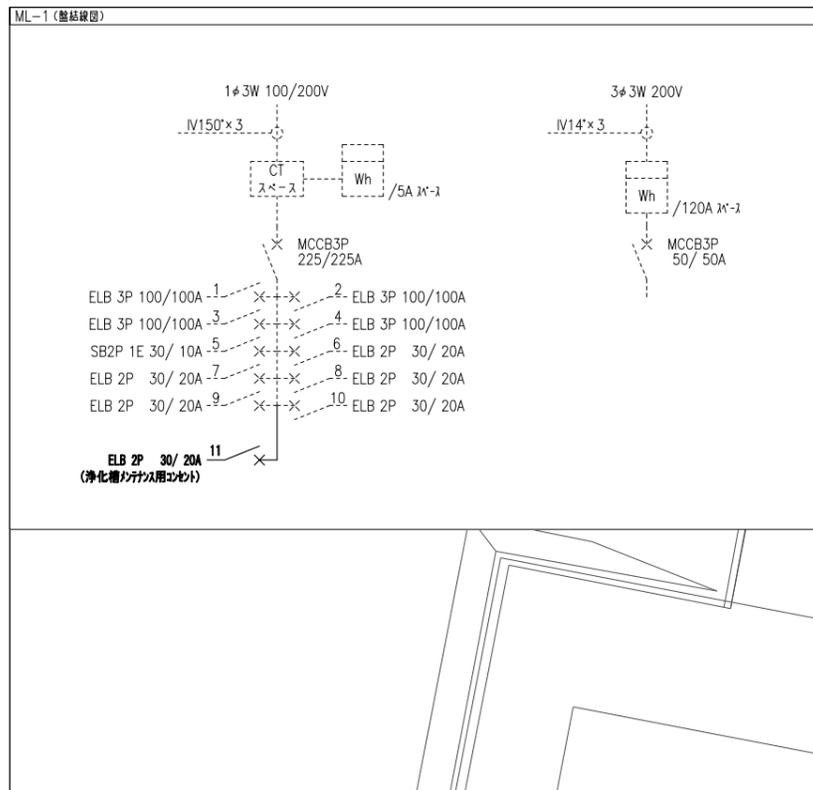
Table with 2 main columns: Ⅰ. 工事概要等 (Project Overview) and Ⅱ. 工事仕様 (Specifications). It includes project name, location, drawings, and detailed technical specifications for various equipment and materials.

Table with 2 main columns: Ⅲ. 一般共通事項 (General Common Items) and Ⅳ. 電気工事士 (Electrician). It lists general requirements and specific electrical work standards.

Table with 2 main columns: Ⅴ. 足場 (Scaffolding) and Ⅵ. 電線類 (Wiring). It details scaffolding requirements and provides a table for wire specifications including device types, specific wiring, and general wiring.

Table with 2 main columns: Ⅶ. 電気設備 (Electrical Equipment) and Ⅷ. 動力設備 (Power Equipment). It covers requirements for electrical equipment, power equipment, and lighting fixtures.

Table with 2 main columns: Ⅷ. 電気設備 (Electrical Equipment) and Ⅸ. 備考 (Remarks). It includes a table for power equipment specifications and additional notes regarding project requirements.



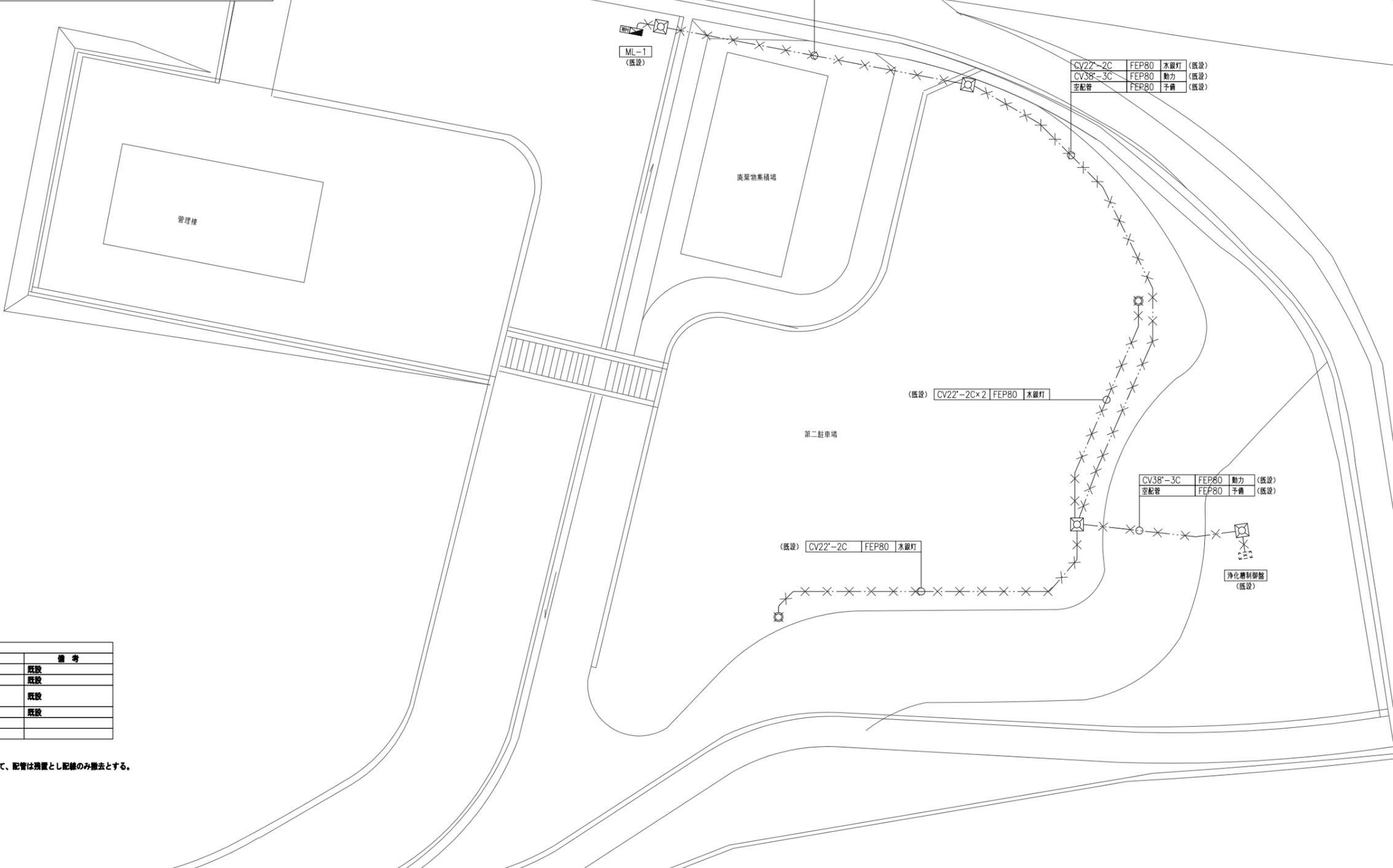
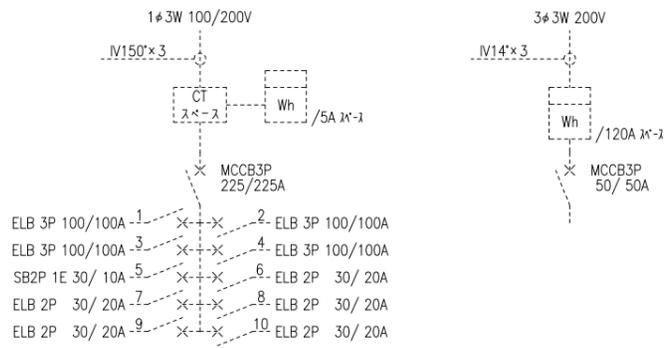
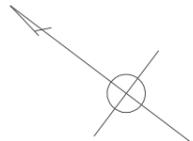
| 凡例 | 記号 | 名称 | 備考 |
|----|----|----------|---------------|
| ☐ | ☐ | 電灯動力分電盤 | 既設 |
| ☐ | ☐ | 動力制御盤 | 機械設備工事 |
| ☐ | ☐ | ハンドホール | H2-9 (R8K-60) |
| ☐ | ☐ | 埋設機 | コンクリート製 |
| ☐ | ☐ | 水銀灯 | 既設 |
| ☐ | ☐ | 接地極 | |
| ☐ | ☐ | 地中埋設配管配線 | |

株式会社エネグリーン
 一級建築士事務所
 広島県知事登録16(1) 第4814号
 一級建築士登録番号188695号 大下 勝見 印

工事名 宇根山家族旅行村浄化槽改修工事

図面内容・縮尺
 幹線・動力設備 配置図 (改修後)

種類 S=1/300
 設計 令和6年
 図面番号 E-02



| 凡例 | 記号 | 名称 | 備考 |
|----|----|----------|----|
| | ⏚ | 電灯動力分電盤 | 既設 |
| | ⏚ | 動力制御盤 | 既設 |
| | ⊠ | ハンドホール | 既設 |
| | ⊙ | 水銀灯 | 既設 |
| | — | 地中埋設配管配線 | |
| | × | 撤去箇所を示す | |

注記)
※撤去記号のある配線配管について、配管は残置とし配線のみ撤去とする。

参 考 数 量 書

工 事 名 称

宇根山家族旅行村浄化槽改修工事

[工事概要]

三原市久井町吉田

用途,構造,面積

工 事 範 囲

一 式

別 途 発 注 工 事

な し

工 期

契約締結日の翌日から 令和 7年2月13日までを工期とする.

一 般 事 項

《工事予算内訳》

設計金額 ￥

(税込み)

〈内 訳〉

区 分

金 額

摘 要

工 事 価 格

消 費 税 額

設 計 金 額

工事費内訳

| 名 称 | 数 量 | 単 位 | 金 額 | 備 考 |
|---------|-----|-----|-----|-----------|
| 直接工事費 | | | | |
| 機械設備工事 | 1 | 式 | | |
| 電気設備工事 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | |
| 共通費 | | | | |
| 共通仮設費 | 1 | 式 | | |
| 現場管理費 | 1 | 式 | | |
| 一般管理費等 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | |
| 工事価格 | 1 | 式 | | |
| 消費税等相当額 | 1 | 式 | | 消費税率 10 % |
| 工事費 | 1 | 式 | | |
| | | | | |
| | | | | |

機械設備工事 細目別内訳

| 浄化槽改修 | | 屋外設備 | | | | | |
|----------------------|--|------|----|----|----|------------|--|
| 名称 | 摘要 | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 | |
| 【屋外給水設備】 | | | | | | | |
| 水道用ポリエチレン管 | 軟質管・金属製継手接合 地中配管 20A | 90 | m | | | | |
| 散水栓ボックス | WB・20A 水栓共 | 1 | 個 | | | | |
| 青銅仕切弁 | 10K(ねじ) 20A | 2 | 個 | | | | |
| 弁柵 | 機 械 VC-P(550H) | 2 | 組 | | | | |
| 埋設標識テープ | 150幅 | 90 | m | | | | |
| 土工事 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0001 | |
| 【屋外排水設備】 | | | | | | | |
| 排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP) | 地中配管 150A | 68 | m | | | | |
| プラスチック柵 | 柵径200φ 最大排水管径150φ ST 塩ビふた付 ～500 | 2 | 組 | | | | |
| プラスチック柵 | 柵径200φ 最大排水管径150φ 90L、45L 塩ビふた付 ～500 | 1 | 組 | | | | |
| プラスチック柵 | 柵径200φ 最大排水管径150φ DR 塩ビふた付 ～500 | 2 | 組 | | | | |
| プラスチック柵 | 柵径200φ 最大排水管径150φ 90L、45L 塩ビふた付 1201～1500 | 1 | 組 | | | | |
| プラスチック柵 (鋳鉄製防護ふた) | 柵径200φ 最大排水管径150φ 90L、45L 801～1200 T-14 蝶番ロック式 | 2 | 組 | | | | |
| プラスチック柵 (鋳鉄製防護ふた) | 柵径200φ 最大排水管径150φ DR 501～800 T-14 蝶番ロック式 | 1 | 組 | | | | |

機械設備工事 細目別内訳

| 浄化槽改修 | | 撤去工事 | | | | |
|----------------------|--------------------------|------|----|----|----|------------|
| 名称 | 摘要 | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
| 【屋外排水設備】 | | | | | | |
| 排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VU) 撤去 | 地中配管 40A | 4 | m | | | |
| 排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VU) 撤去 | 地中配管 150A | 69 | m | | | |
| インパクト機 撤去 | 機械 SC-4(1500H) A形(1.5トン) | 1 | 組 | | | |
| インパクト機 撤去 | 機械 SC-4(1600H) A形(1.5トン) | 1 | 組 | | | |
| インパクト機 撤去 | 機械 SC-4(1800H) A形(1.5トン) | 1 | 組 | | | |
| インパクト機 撤去 | 機械 SC-3(800H) A形(1.5トン) | 1 | 組 | | | |
| 土工事 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0005 |
| 【浄化槽設備】 | | | | | | |
| 合併処理浄化槽撤去 | 300人槽 | 1 | 式 | | | 別紙 00-0018 |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

機械設備工事 別紙明細

| 浄化槽改修 | | 屋外設備 | | | | |
|---------|-------------------------------------|------|----|----|----|------------|
| 名称 | 摘要 | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
| 土工事 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0001 |
| 根切り(機械) | バックホウ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型 | 26 | m3 | | | |
| 埋戻し | 機械 バックホウ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型 | 18 | m3 | | | |
| 建設発生土処理 | 人力 構内敷ならし | 8 | m3 | | | |
| 砂利地業 | 切込み砂利(再生) | 4 | m3 | | | |
| 計 | | | | | | |
| 土工事 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0002 |
| 根切り(機械) | バックホウ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型 | 37 | m3 | | | |
| 埋戻し | 機械 バックホウ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型 | 29 | m3 | | | |
| 建設発生土処理 | 人力 構内敷ならし | 9 | m3 | | | |
| 砂利地業 | 切込み砂利(再生) | 5 | m3 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

機械設備工事 別紙明細

| 浄化槽改修 | | 浄化槽設備 | | | | |
|-----------|-----------------|-------|----|----|----|--------------------------|
| 名称 | 摘要 | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
| 土木工事 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0019 |
| 9. 直接仮設工事 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0019/00-001 |
| 10. 土木工事 | ホブソット工法 | 1 | 式 | | | 別紙 00-0019/00-002 |
| 11. 法面養生 | 単管コンパネ・ネット・シート等 | 1 | 式 | | | |
| 12. 現場管理費 | | 1 | 式 | | | |
| 13. 諸経費 | | 1 | 式 | | | |
| 14. 法廷福利費 | | 1 | 式 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 9. 直接仮設工事 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0019/00-001 |
| 1) 直接仮設工事 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0019/00-001/00-001 |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

機械設備工事 別紙明細

| 浄化槽改修 | | 浄化槽設備 | | | | |
|-----------------|------------------|-------|----------------|----|----|--------------------------|
| 名称 | 摘要 | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
| 1) コンクリート 工事 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0019/00-002/00-002 |
| 捨てコンクリート | Fc-18N/mm2. S-15 | 1.2 | m ³ | | | |
| 同上打設費 | | 1.2 | m ³ | | | |
| 有筋コンクリート | Fc-21N/mm2. S-15 | 12.09 | m ³ | | | |
| 同上打設費 | | 12.09 | m ³ | | | |
| トラックレッカー | ホッパー含む | 3 | 台 | | | |
| コンクリート試験 | | 2 | 回 | | | |
| 計 | | | | | | |
| 2) 型枠工事 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0019/00-002/00-003 |
| 地下一般型枠 | 材工共 | 11.4 | m ² | | | |
| 材料運搬費 | | 11.4 | m ² | | | |
| 面木 | 材工共 | 32.2 | m | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |

機械設備工事 別紙明細

| 浄化槽改修 | | 浄化槽設備 | | | | |
|---------|-------------|-------|----------------|----|----|--------------------------|
| 名称 | 摘要 | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
| 3) 鉄筋工事 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0019/00-002/00-004 |
| 異形鉄筋 | SD295A. D13 | 1.27 | t | | | |
| 異形鉄筋 | SD295A. D16 | 0.01 | t | | | |
| 加工組立て費 | 壁式、単純 | 1.28 | t | | | |
| 鉄筋運搬費 | トラック搬入 | 1 | 車 | | | |
| 開口部補強 | | 5 | か所 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 4) 左官工事 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0019/00-002/00-005 |
| 木ごてならし | 定盤ならし | 124.6 | m ² | | | |
| 金ごて押さえ | | 249.3 | m ² | | | |
| 機械室基礎工事 | | 1 | 式 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

機械設備工事 別紙明細

| 浄化槽改修 | | 撤去工事 | | | | |
|-----------|--------------|------|----|----|----|-------------------|
| 名称 | 摘要 | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
| 1. 直接仮設工事 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0018/00-001 |
| 準備工事 | | 1 | 式 | | | |
| 安全費 | 進入路バリケード他 | 1 | 式 | | | |
| 安全費 | 砂搬入時 誘導員配置 | 1 | 式 | | | |
| 安全費 | 槽内 換気 | 1 | 式 | | | |
| 重機回送費 | 埋戻用0.25バックホウ | 1 | 往復 | | | |
| 発電機損料 | | 6 | 日 | | | |
| 機材搬入・引取り | | 1 | 式 | | | |
| 運搬交通費 | | 1 | 式 | | | |
| 計 | | | | | | |
| 2. 清掃費 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0018/00-002 |
| 洗浄污水抜取 | | 3 | m3 | | | |
| 槽内洗浄作業 | | 1 | 式 | | | |
| 計 | | | | | | |

機械設備工事 別紙明細

| 浄化槽改修 | | 撤去工事 | | | | |
|--------------|---------------|------|----|----|----|-------------------|
| 名称 | 摘要 | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
| 4. 機械処分工 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0018/00-004 |
| 600φマンホール | | 2 | か所 | | | |
| 600×800 | 2枚×11と中浅×11 | 11 | か所 | | | |
| 450×800 | 2枚×2と中浅×2 | 2 | か所 | | | |
| 1200×1200 | 6枚×1と中浅×5 | 1 | か所 | | | |
| 900×1140 | 6枚×1と中浅×5 | 2 | か所 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 5. 配管・機器開口撤去 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0018/00-005 |
| 配管撤去 | エア・返送槽内配管 | 4 | 人役 | | | |
| 槽内撤去 | 沈殿槽・PVC計量器 | 3 | 人役 | | | |
| 接触ろ材撤去 | 槽内で小さく切断しろ材搬出 | 5 | 人役 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

機械設備工事 別紙明細

| 浄化槽改修 | | 撤去工事 | | | | |
|----------------|------------|------|----|----|----|-------------------|
| 名称 | 摘要 | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
| 6. 躯体埋め殺し工 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0018/00-007 |
| 底に近い側壁へ 穴明け | 150×150L | 10 | か所 | | | |
| 差し筋アンカ @300 | D10開口部シングル | 158 | 本 | | | |
| 鉄筋 | D-10 鉄筋接続 | 1 | 式 | | | |
| 埋戻し作業 | | 183 | m3 | | | |
| クッション砂充填 | 153×1.2 | 183 | m3 | | | |
| 同上運搬費 | | 183 | m3 | | | |
| コンクリート | | 2 | m3 | | | |
| コンクリート打設 手間 | | 1 | 式 | | | |
| コンクリート押え | | 1 | 式 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

電気設備工事 別紙明細

| 浄化槽改修 | | 構内配電線路 | | | 動力幹線 | |
|-----------------|--------------------------------------|--------|----|----|------|------------|
| 名称 | 摘要 | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
| 電線 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0011 |
| EM-IE電線 | 5.5mm ² × 1本 | 24 | m | | | |
| 計 | | | | | | |
| ケーブル | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0012 |
| EM-CEケーブル | 3.5mm ² - 3C FEP内 (PF・CD) | 61 | m | | | |
| EM-CEケーブル | 3.5mm ² - 3C ヒット・天井 | 3 | m | | | |
| 計 | | | | | | |
| 電線管 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0013 |
| 波付硬質合成樹脂管 (FEP) | (30) | 27 | m | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

